

---

# 犬Fate/stay night 第二部

七志野藤兵衛

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

犬Fate/stay night 第二部

### 【Nコード】

N3793M

### 【作者名】

七志野藤兵衛

### 【あらすじ】

このネタを、TYPE-MOONにやっぱり捧げない。あの聖杯戦争から七年、戦いはまだ終わっていないかった！ 真の聖杯を巡って行われる士郎たちの新たな激闘！ 宮本武藏、岡田以蔵、那須与一……。魔界から蘇った武芸者と繰り広げる凄絶な剣戟！ ……とまあそんなことを言ってるけど第一部と同じようにシユールかつ支離滅裂な内容です。「犬Fate/stay night」の完全な続編のため、まずはそちらの方を読んだ方がいいです、絶対に。

1クール目(1~13話)(前書き)

本作は前作「犬Fate/Stay night」の続編のため、そっち読んでからこっちを読んだほうが楽しめます、きつと。

## 1クール目（1～13話）

第一話「セイバーが死ぬ時！ 冬木町は沈没する！！」

聖杯戦争から七年、聖杯戦争に関わった面々はそれぞれ平穏な生活を送っていた。しかしある日何の脈絡もなくレッドギラス（アンガールズ田中）とブラックギラス（アンガールズ山根）が襲撃、冬木町を水浸しにする。それにさっそく立ち向かうセイバーであったがエクスカリバーが通用せず逆に二匹の合体技・ギラススピン（ジャンガジャンガ）により追いつめられる。んでもって新入りのバゼットとカレンが新入りの意地を見せるべくそれぞれ義手に仕込んだ刀（なんか百鬼丸っぽい）、魔獣（ヒヤクメルゲ、サラセニアン、うわん、ウナギイヌ、シンナーマン、やおいちゃん）で立ち向かうがやっぱり二匹には通用しないのであった。そして、セイバーが二匹の手により足をヘシ折られようとしたその時、謎の二人のサーヴァントが現れ二匹をばっさり斬り捨てた…。

### 解説

「もう一つの激闘編」という触れ込みで始まった番外編。作者曰くパラレルワールドの話らしい。なんとというかランサー、ギルガメッシュ、バーサーカー、アサシンが生きているわキャスターは葛木とラブラブだわで第一部がないがしろにされているあたり早くも七志野イズムが炸裂している。なお、この話において士郎幼少時の冬木町の大火災はなかったり士郎と切嗣は実の親子ということが判明する。

### 第二話「恐れていた間桐臓硯の復活宣言」

ギラス兄弟を斬った二人のサーヴァントはそれぞれセイバー・柳生十兵衛、アサシン・中村主水と名乗った。そして彼らの口から間桐

臓硯が蘇ったということ、自分たちは臓硯により転生させられひよんなことから洗脳が解け臓硯を寝返ったということを知らされる。そしておなじみだった採石場に集められるレギュラー陣たち。そこには二人のサーヴァントの言うとおり臓硯が、そして言峰綺礼の兄・言峰鯨（大月ウルフ）と臓硯率いる魔人サーヴァント軍団がいた…。臓硯の語る衝撃の事実。それは、従来の聖杯戦争で使われていた聖杯は、江戸時代日光東照宮に奉納される本物の聖杯を左甚五郎が模造したものであることであつた……。臓硯は東京で一週間後に聖杯戦争？を開催することを宣言する。彼は、優勝商品は古来より権力を握るものの手に現れ、そして衰退する時に消えていった真の聖杯参加賞は一人当たりノート一冊であることを告げ去っていく。新しい戦いに対し東京までの旅費は自腹ということに怒りの炎を燃やす士郎。そして、セイバー、ライダーは自称臓硯を裏切つたという柳生十兵衛と中村主水を信用しきれないのであつた…。

#### 解説

弟の名が「綺礼」だからつて兄の名は「鯨」とはいくらなんでも安直すぎると思う。ちなみに今回BGMでグループ魂の「半日消防所長」が延々と流れていたがこれは脚本家が第二回人気投票の藤ねえ15位の結果に壮絶なまでに不機嫌だつたため（備考：「半日消防所長」は脚本家の頭の中における藤ねえのイメージソング）。

臓硯率いる魔人サーヴァント軍団の内訳は以下の通り。

セイバー 宮本武蔵

アーチャー 那須与一

キャスター 天草四郎

ランサー 宝蔵院胤舜

アサシン 岡田以蔵

バーサーカー 弁慶

ライダー 飛葉大陸

ギルガメッシュ ????

### 第三話「衛宮士郎たち東へ」

臓硯の聖杯戦争？開催宣言から三日後、衛宮士郎たちは新たな激闘の舞台となる東京に来ていた。ネコ、大門、慎二、零観、イエス、カレンの腹心の部下・フランチエスカ次郎（板尾創路）とミカエル源蔵（阿藤快）は冬木町に残ることになった。そして、士郎は大門、大河、臓硯の復活を知った切嗣から4人の助っ人を紹介されていた。射撃の名手の刑事・黒戸翔十郎、甲賀忍者の末裔の私立探偵・渡瀬仁太郎、陰陽師としての顔を持つ神主・双山宗之介、かつて史上最強と呼ばれた魔術師で現在は俳優の阿藤快がその4人だ。とりあえず最初に東京での拠点となる宗之介の神社・双山神社へ向かう士郎一行。だが、サーヴァントの宝具が警察に見つかり一行はまず留置場行きにされるのであった…。

### 解説

文章で書くと一見まともだが放送時間の大半を新幹線内での士郎たちの酒盛りの描写に費やした異色作。後半にはどさくさにまぎれてスタッフ、脚本家までもが酒盛りに加わっている。今回コペンハーゲンが登場するが看板の文字はどっからどう見ても「魔の巣」としか読めない。第一部登場の謎のセールスマンが入り浸ってるし。

### 第四話「助っ人は五人」

立ってるものは親でも使えと言わんばかりに遠野家の権力を利用して釈放された士郎たち。彼らの拠点となる桃月の双山神社にたどり着いた士郎一行は残りの助っ人に会うべくそれぞれ助っ人の元に向かう。士郎と大河は仁太郎のいる埼玉某所のアルカディア商店街へ、ライダーと桜は翔十郎との待ち合わせ場所の公園へ、カレンとバゼットは阿藤快の待つ喫茶店（喫茶マウンテン）へ向かう（残りは双

山神社で留守番)。一方、臓硯側は魔人サーヴァント軍団の他にネロ・カオス(ジャック・ニコルソン)、ワラキアの夜(岸田森)、荒耶宗蓮(今井健二)、ミハイル・ロア・バルダムヨオン(メトロン星人)を魔人として再生させていた…。

#### 解説

もう何度目だか分からないがTYPE-MOON歴代悪役が一気に復活した一作。特にネロ・カオスはもはやTYPE-MOONのバルタン星人としか言いようがない。ロア役がメトロン星人だったのが果てしないまでに謎だったがこれは結局ロアのキャストが思いつかなかったから。ちなみに阿藤快参戦の理由は脚本化が「魁!!!」クロマティ高校THE MOVIEを見たから。なお、阿藤快は前々回の聖杯戦争にアーチャーのマスターとして参戦し切嗣と反目しつつも共闘した仲という設定。

#### 第五話「激闘始まる」

かくして、期日の一週間が過ぎた。士郎の元に集まった助っ人は阿藤快(ただし仕事優先)、黒戸翔十郎、双山宗之介、渡瀬仁太郎、仁太郎の紹介で来た春日風人の五人だ。東京ドームでの開会セレモニー(司会・堺正章)も無事済み、聖杯戦争?は始まった。そして士郎たちの前に臓硯第一の刺客として黒セイバー1(13号までのすべての能力をかね揃えた最強の黒セイバー14号(桜塚やつくん)が立ちはだかる…。一方、アルクエイドはパリで自称怪盗という謎の人物と知り合い意気投合して飲み屋(千葉各地のサイゼリア)をハシゴする。酒を酌み交わしつつお互いの武勇伝で盛り上がる二人。だが、アルクはすっかり自称怪盗に七年前の聖杯戦争のことと今日本では聖杯戦争?が開催されているということをお教えしてしまう…。

## 解説

マリー・アントワネット、ルイ14世を仕置したのはアルクエイドだったなど意外すぎる彼女の過去（脚本家が勝手に作ったからやっぱり非公式設定）が判明した一作。今回のみキャスターは曾我町子が演じているが演出意図は不明。場面によってキャスターの格好がヘドリアン女王だったり魔女バンドーラだったりするのがさらにシユールである。

## 第六話「凶悪！ 二セ士郎その他大勢」

黒セイバー14号を会って間もないにもかかわらず息のあった連携で退ける黒戸、双山、渡瀬、春日。だが、臓硯の真の目的は聖杯戦争以来さらに強くなった衛宮士郎たちのデータ採取することにあつた。さらにイギリスの遠坂凜とアーチャーのデータ採取におとり怪獣アロン（薩摩剣八郎）を利用し成功した臓硯は間宮五郎（間宮林蔵）、セイファー（コロツケ）、バーザーガー（大前均）、蘭（黒柳徹子）、イルア（池乃めだか）、アーチ（長崎の眼鏡橋）、にせランサー（明石屋さんま）を作り上げる…。一方、アルクから聖杯のことを聞かされた怪盗クイーンは親友・ジョーカーとRDのもつてきた仕事をつっぱねて聖杯を新たな仕事のターゲットにし、さつそく準備を開始した…。

## 解説

まさかの「Faith/stay knight」参戦編。間宮林蔵氏がドラマ初出演にもかかわらず重厚な演技を見せているのが印象的。必殺シリーズ第6152作「必殺ばにぼ人」第八話「力をかわす大天使」において大天使ミカエルを好演した大前均が出演しているのもファンにはうれしい限りである。

## 第七話「終わりになき大風呂敷」

セイバーとライダーの柳生十兵衛と中村主水に対する不信はピークに達していた。冬木の子盗賊・セイバーにいたっては大人げなさフルスロットルで十兵衛と主水の晩御飯のおかずを毎日強奪する始末である。そんな四人の不和っぷりに目をつけた臓硯は士郎一行のチームワークをガタガタにするべくキャスター・天草四郎の魔法を利用してセイファードと五郎を十兵衛と主水の偽者に仕立て上げる。さっそくライダー愛用の自転車をパンクさせたりセイバー愛用の茶碗を叩き割ったりと蛮行を繰り返しそれを本物の仕業と見せかける偽の二人。遂に堪忍袋の緒が切れたセイバー、ライダーは本物の十兵衛と主水を近所の土手に呼び出すのであった…。

## 解説

セイバーの名台詞「オメエに食わせるトンカツはねえ！」が印象的な一作。偽者そっちのけで夕陽の土手で殴りあったあとに夕陽を見つめ仲直りする四人のシーンは屈指の名シーン。今回に限り天草四郎の呪文は「リリカルトカレフキルゼムオール」。

## 第八話「帰ってきた遠坂凜ほか一名!!」

イギリスから遠坂凜とアーチャーがやっとこさ帰って来た。彼女らはイギリスでの公演のために帰国が遅れていたものであった。とりあえずお土産のペナントと置物、12色ボールペン、東京銘菓・ひよこ、そしてリコリス菓子（作者のサークルの部屋においてあったやつ）を一向に渡す凜。だが、遠坂凜は阿藤快や黒戸翔十郎たちの聖杯戦争参戦を聞かされていないにもかかわらず桜にドラマ撮影で外出中の阿藤快のことを尋ねる。そのことが気になった仁太郎はひよこをむさぼり食いながら仁太郎脳内会議を開催。仁太郎の脳内で6人の仁太郎が討論、せんだみつおゲーム、マイムマイム、昼休み、そしてプレゼント交換を経て出した結論は凜は臓硯の刺客が化けた

偽者ということであった…。

#### 解説

放送時間の大半を仁太郎脳内会議の描写に費やした異色作。なんかやばい目つきで一心不乱にひよこをむさぼり食う仁太郎のシーンは全国の子供たちのトラウマとなった。ちなみに脳内の6人の仁太郎を演じたのはエディ・マーフィー、メソウサ、森鷗外、孟子、エジプトス、チャック・ノリス。

#### 第九話「怪盗 霧の中から来たクイーン」

遠坂凜とアーチャーの正体は怪盗クイーンとその親友、もとい仕事上のパートナー・ジョーカーであった。彼らは聖杯について探るために士郎側と接触しようとしたのである。正体のばれた二人は士郎たちに聖杯戦争？に自分たちは第三勢力として参加することを伝え去っていく…。その一日後、クイーンとジョーカーは臓硯側にそれぞれすし屋、ピザパニツシャアの配達員に化け接触、士郎側と同じく聖杯戦争？参戦の旨を伝え挑戦状の代わりに人数分の上寿司とピザを置いていく…。一方、聖杯のことを調査していた仁太郎と翔十郎は太平洋戦争時、聖杯を最後に所有していた日本軍が空襲に備えて聖杯を隠匿する際にそのありかを示した書類を残したということ突き止めていた。早速その書類の事を聞きに元日本軍のロドリゲス（森繁久弥）の元へ向かう仁太郎、翔十郎、宗之介、風人。だが、すでにロドリゲスは再生ネロ・カオスに襲撃され虫の息であった。息も絶え絶えのロドリゲスは四人に中原中也の詩集を託し、「モエビヨリ」と言い残し絶命するのであった…。

#### 解説

七志野作品お約束の謎の言葉「モエビヨリ」が登場した一作。三谷幸喜の赤い洗面器を頭に乘せた人の話と同じだとは作者の言葉。ど

うでもいいが絶対に聖杯の在り処の書類の話は投げっ放しになると作者が思っているのは内緒。

第十話「他人の疝氣を頭痛に病む」

ロドリゲスから託された中原中也詩集には「サーカス」の「ゆあーんゆよーんゆやゆよん」の箇所が引かれていた。一体この詩集と「モエビヨリ」という言葉に何が隠されているのか…。さすがの仁太郎と翔十郎もこれには推理に行き詰まってしまう。そんな中、宗之介は桃月学園時代の自分の恩師であるレベツカ宮本に相談することを思いつく。早速ナチュラルハイに「黄色いバカンス」、「ルーレット ルーレット」、「少女Q」、「富士サファリパークのCMソング」、「できるかなのテーマ」、「今日もどこかでデビルマン」を次々と熱唱しながら宮本研究室に向かう翔十郎、宗之介、仁太郎、風人、阿藤快の五人は桃月西口商店街の皆さん（哀川翔、竹内力、徳川綱吉、蘇我馬子、平塚らいてう）も巻き込みミュージカル風に目的地に着いた。そして、一行は例のことをベツキーに話し彼女に「進めザイダベツク」を唄いながら詩集のコピーとお土産のゴリラの鼻くそ（上野動物園で売ってるの）を渡した後、おもむろに「遙かな夢」を歌おうとするベツキーを突き飛ばし「BOHEM IAN RHAPSODY」を絶唱するのであった…。

解説

作者いわく仮にも桃月が舞台なんだからいつかは書かなければならなかったらしい一作。この後も準レギュラー的に「ぱにぱに」の登場人物が登場することとなる。ちなみになぜか今回は登場人物が「ぱにぱにだっしゅ！」関連曲を熱唱している。葛木とキャスターの「肉球慕情」、大河とイリヤの「DEAD OR ALIVE」は必聴。今回士郎が鬼気迫る勢いで「ファイブハンドロック」を熱唱するシーンに一瞬登場するネコ神様の声は中尾彬。

第十一話「本当に帰ってきた遠坂凜ほか一名!!」  
最新新キャラが目立ちすぎてねえ? そうギルガメツシユとランサーは近所の「スナック ぱにぼにゅ」で飲んだくれながら話していた。そういえば第一部もひどい扱いだっただよな…。ランサーは黒桜にあっさりなぶり殺しにされてギルガメツシユは大河にボロボロにされたこともあったし…。劇場版ではサーヴァント・多治見要蔵(山崎努)にヤムチャばりにあっさりやられたしTVスペシャルでは熱々おでんを食わされたりロケ地へ行く旅費が自分たちだけ自腹だったこともあったっけ…。一方、喫茶エトワールで食い逃げをしたセイフアー(パイパイ鈴木)と黒セイバー14号(ホンジャマカ石塚)を追い翔十郎、宗之介、仁太郎、風人の四人は第一部でおなじみの採石場にきていた。そこで四人は待ち受けていた天草四郎の魔術で囚われの身になってしまふ…。四人とロドリゲスの遺品の取引を持ちかけられる士郎一行。その取引に名乗りを上げたのはギル、ランサー、アサシン、バーサーカーの最近目立ってない男性陣であつた…。

#### 解説

最後にどさくさにまぎれてゲート・オブ・バビロン(丹波哲郎)で翔十郎たちを始末しようとするギルが印象的な一作。今回、翔十郎ら四人が前に黒セイバー14号を退けたことからさりげなく慢心していることが明らかになるがこれが次回以降への伏線になっている。今回から最後にエンドカードが表示されるというどこかで見たことのあるような演出がされるようになる。記念すべき第一回目の絵師はゴッホ。今回に限り天草四郎の呪文は「びびるびるびるびるびる」。あとついでに今回本物の凜とアーチャーがイギリスから帰ってきたがその描写がわずか30秒で終わったのが気にかかる。

第十二話「ベッキー捕わる！ 臓硯万歳！」

前回言ったとおり翔十郎たち四人は慢心していた。その慢心っぷりはすさまじいものがあり、TYPE - MOON次回作を四人を主人公にした話にさせようしたり聖杯戦争？終了（もちろん四人のおかげで）後の人生設計（テレビ出演、いいとも水曜レギュラーに、「古畑任三郎」の犯人役で出演、ハリウッドデビュー、自伝出版、ワールドツアー、音楽性の違いで解散）を妄想交じりで本気に考えたりしている有様である。そんな四人に阿藤快も「なんだかなー」と眉をひそめ、大河はこの慢心がとんでもない事態を引き起こすのではないかと心配していた。一方、臓硯はベッキーをさらい彼女の頭脳を利用し中原中也詩集と「モエビヨリ」の謎を明かそうとし、魔人サーヴァント軍団を率いてベッキーを襲撃する。ベッキーを助けようとするがなすすべも無く魔人セイバー・宮本武蔵に斬られるメソウサ…。宗之介の腕の中で息絶えたメソウサからしっかりしろいパターンで金を受け取った四人は「許せねえ！！」と果敢に魔人セイバー、魔人ランサーらに立ち向かうが逆に返り討ちに遭いベッキーは連れ去られてしまう…。

### 解説

メソウサの壮絶な死が全国のメソウサファンの涙を呼んだ一作。だが、次の回で何事も無かったかのようにメソウサがネコ神様（パソツエッタ・ジローラモ）に説教をされていたのが仕業人シリーズの「なかったことパターン」を彷彿とさせる。あと宗之介の腕の中で息絶えるメソウサの回想シーンに「ぱにぽにだっしゅ！」、「ぱにぽにだっしゅ！」、「小学校激闘篇」、「ぱにぽにだっしゅ！」、「30年目の旅立ち」、「必殺ぱにぼ人」、「新必殺ぱにぼ人」などぱにぼにシリーズの名シーン（念仏の都と中村主水の再会、三遊亭楽太郎の殉職、ベホイミとメディアの芳流閣の決闘、ベッキーを救うため拳銃片手に悪の教育関係者の本拠地に一人向かう宗之介の目の前

に次々現れる1年C組の面々、同心・諸岡を斬り殺し外道教育関係者の本拠地に单身切り込む一条さんなどが流れたのがファンを喜ばせた。

今回のエンドカード：しりあがり寿

### 第十三話「義賊・四匹の復活」

昭和初期、江戸時代から活躍していた四人の義賊が引退を決意した。彼らは衣装や武器を一つの長持に封印し四つの鍵をかけた。そして、四つの鍵は自分たちの志を継いだ子孫が現れるときのために一人一つずつ持つこととなった。時は流れ現在、翔十郎ら四人は前回魔人サーヴァント軍団に太刀打ちができず無力感にさいなまれ、さらに「ベツキーがさらわれた？ なんだかなー。」「このモグラ獣人が！」「オメーらはマンモーニ（ママツ子野郎）なんだよ！」「お遊び的なことならTVスペシャルでやってくんない？」と次々とその慢心を指摘されそして桜（怒りのあまり半分黒桜化）からは「オメエらに食わせる晩飯はねえ！」と晩御飯抜き、大河からは散々竹刀リボルケインでぶん殴られたあと反省文（原稿用紙5枚以上。文中に必ず「藤ねえ最高」「藤ねえはセクシー」「一日警察署長」「エイドクガー」「マホヤーン」という単語を使う）を課せられる…。半泣きで近所の「スナック ぱにぽに」で飲んだくれる四人。ふと、先祖の代から肌身離さず持っている鍵の話始める翔十郎。その話に反応する三人。三人も同じく先祖の代から肌身離さず持っている鍵を持っていたのだ。その鍵は双山神社の蔵にある四つの鍵がかかった長持の鍵だと断定した四人は「いてもたっても音速丸！」と言わんばかりに双山神社へ走る…。一方そのころ、さらわれたベツキーは魔人ギルガメッシュの手のひらに張った目のシール（なんか「ウルトラマンガイア」に出てきたでっかい目の怪獣）によってはうはうさせられていた…。

## 解説

四匹への執拗なまでの叱責がもはやいじめの領域に入ってた一作。先祖の残した古文書から自分たちは江戸時代活躍した義賊・四匹の末裔と知った四人が四匹の使ってた武器と衣装を身につけベツキーを救出するのかと思いきやアホ毛でベツキーの助けを求めるテレパシーを受信した姫子が一条さんとともに救出した。ちなみに今回姫子の伸びたアホ毛でにせランサーが体を締め付けられ「バジリスク」の衰念鬼ばりに全身の骨を砕かれて絶命。イルアもよく分からないうちに一条さんに瞬殺された。

今回のエンドカード：杉本一文

2クール目(14〜26話)(前書き)

前作「犬Fate/Stay night」の続編だからそっちな先に読まないと絶対に訳が分かりません、きっと。

## 2クール目(14〜26話)

第十四話「魔人ギルガメツシュー!! 恐怖の正体?」

結局秘密になつてゐる魔人ギルガメツシューの正体つて何なんよ? そ  
う十兵衛と主水は喫茶店エトワールでカレン、バゼットとジャンボ  
パフェ(江守徹)をつつきながらだべつていた。前回ベツキーを助  
けに臓硯のアジトに殴りこんだ四匹いわく魔人ギルガメツシューは四  
人いたらしいな…。討論の末、魔人ギルガメツシューの正体はジャッ  
カー電撃隊のサーヴァントか四天王像のサーヴァントと推測する一  
行。だが、後ろの席でメロンクリームソーダ(寺田農)の食べ方に  
ついて熱く議論を交わしていたのは魔人ギルガメツシューの四人だつ  
た。その声は四匹とそっくりだったから十兵衛たちはつきり四匹  
だと思つて気づかなかつたのだ。そういえばそこはかとなく体格も  
四匹と似てる。ということは魔人ギルガメツシューは四匹だったのか  
…!?! しかし一方、当の四匹は桃月西口商店街の中華料理屋・桃  
香飯店(桃園)で三国志っぽく義兄弟の契りを交わしていた…。

### 解説

延々と十兵衛ら四人がジャンボパフェをつつく描写の続いた異色作  
放送後、ロケに使われた喫茶エトワールではジャンボパフェとクリ  
ームメロンソーダ、甘口抹茶スパが大いに売れたという話はファン  
の間では有名。ちなみに今回明らかになつた魔人ギルガメツシューの  
正体は江戸時代活躍した元祖四匹。だが、いかんせん仲間内でメロ  
ンクリームソーダのアイスを食べながらソーダを飲むかアイスを溶  
かしてアイスの溶けたメロンソーダを飲むかで対立していたのが凄  
みに欠けると思う。ちなみにバゼットは前者、カレンは後者らしい。  
義兄弟の契りを交わす四匹はなぜか人形劇で表現されていたがこれ  
はNHK連続人形劇「三国志」へのオマージュか。

## 今回のエンドカード：東洲齋写楽

第十五話「宗之介以外全員倒れる！ 走れ宗之介！！」

ある日、宗之介以外のメンバーがいきなり風邪で倒れ病床に伏した。彼らの額には「桃」の字が浮かんでいた。宗之介は自分は倒れていないことからこれがかつて桃月学園1年C組で流行した桃月風邪と断定。実はこれは臓硯が放った細菌兵器・新桃月風邪であった…。この緊急事態に宗之介は1年C組の面々（レベツカ宮本、片桐姫子、橘玲、桃瀬くるみ、6号、一条さん、上原都、小梅太夫、デカルト、楳図かずお）に召集をかける。久々に集まったC組メンバーにミラノ風ドリア（290円）を食べながらサイゼリア桃月西口店で事情を説明する宗之介。その話を聞いた一行は土郎から紹介された琥珀に自分たちの血から新桃月風邪のワクチンを作り出してもらうため「必殺ぱにぼ人」シリーズのコスプレをしながらに三咲町の遠野家へ向かう。そして、怪盗クイーンも同じく桃月風邪で倒れたジョーカーを救うため宗之介と共闘することとなった。だが、その目の前に現れたのはにせランサーとイルアの復讐に燃えるセイファーであった…。

### 解説

唐突に登場した桃月学園の生物講師・ベツカム（田部眞哉）による免疫の仕組みの解説に放送時間の大半をしたのが気にかかる一作。

「ぱにぼにだつしゅ！ ～鳳凰編～」より登場した女形のダニエル（小梅太夫）、六波羅蜜寺空也上人像（デカルト）、グワシの新左衛門（楳図かずお）の再登場がファンを喜ばせた。今回、セイファーがにせエクスカリバー（長州小力）でくるみに斬りかかるが逆に無刀取りでにせエクスカリバーを奪い取られ、そのまま逆にくるみにより燕返しに首、上半身、下半身と豪快なまでにバラバラにされた。くるみは普段の地味さを感じさせないほど目立っていたがどう

見てもやりすぎである。

今回のエンドカード：楳図かずお

第十六話「凜危うし！ イギリスから来た女！」

イギリスで凜と人気を二分するピン芸人・ルヴィアゼリツタが来日した。マスコミの前で持ちネタ「暗くてお靴が分からないわ」「どうだ明くなつたらう」「を披露したルヴィアは双山神社にやつてくる。彼女が日本に来た目的はライバルである遠坂凜と雌雄を決するためであった。早速二人は芸人としてのプライドを賭けた勝負を繰り広げる（司会は大河&イリヤ）。阿藤快と風人の熱唱する「DEAD OR ALIVE」をBGMに大喜利、森進一のモノマネ、砲丸投げ、男塾名物・殺シアムなどを繰り広げる凜とルヴィア。そして、最後は自らのスタンドを使った対決へとなだれ込んでいく…。だが、二人が消耗したときに一気に二人を仕留めようとバーザーガーが虎視眈々と狙っていることに気づいたのは誰もいなかった…。そんなバーザーガーの目の前に現れたのは通りすがりの白鳥鈴音と秋山乙女であった…。

### 解説

脚本家・七志野藤兵衛氏は当初本気でルヴィアの名が思い出せなかつたらしく脚本ではルヴィアのところを「ガスパル・ヴィレラ」「カルヴァン」「田中さん」と表記がバラバラなのはご愛嬌。今回、バーザーガーは鈴音の鈴音チョップ（どう見ても岩山両斬波）を食らって即死。マスター・イルアの後を追った。ちなみに今回からセイバーのアホ毛がキノコになるがこれが第二十一話への伏線になっている。

今回のエンドカード：荒木飛呂彦

第十七話「死闘！ ライダーVSライダー！！」  
ある日、愛用の自転車（昔の前輪が馬鹿でかい自転車）に乗っていた買い物帰りのライダーは魔人ライダー・飛葉大陸に会う。魔人ライダーはライダーとしての誇りを賭けてライダーに挑戦状を叩きつける。ライダーの誇りを賭けた勝負。それは道路と歩道の境の白線の上をそれぞれのマシンでひたすら進んでいくというものである。先に白線から外れた者が負けだ。かくして二人の対決が始まった。まあそんな二人は置いて桃香飯店ではギルガメッシュ、ランサー、アーチャー、アサシン、キャスター、葛木、バーサーカー、イリヤたちの最近目立ってない連中が満漢全席（津川雅彦）を食べながらだべっていた。話の内容が「果たして人間は守る価値のある存在なのか」という話からだんだんと相対性理論（竹内力）、フェルマー（鶴屋南北）の最終定理、ベッキーの姉（刑事コロンのカミさん）の話、昨日の晩飯（照明係の飯田さん）の話とだんだんとスケールダウンしていく中、一行は魔人ギルガメッシュの四人が「義賊・四匹と一緒にハチジョウノコギリクワガタ（ワナゲクワガタ）をとろう！」と子供たちを集め、金を巻き上げようとしているのを目撃する…。

### 解説

魔人ライダー・飛葉大陸が改心し仲間になる一作。最終的にどこをどう行ったか知床岬までたどり着いたライダーと魔人ライダーが夕陽を見つめながら仲直りするシーンは名シーン。涼宮ハルヒシリーズ第185作「涼宮ハルヒの谷啓」において鶴屋さんを好演した鶴屋南北のゲスト出演も見逃せない。ついでに今回魔人ギルガメッシュがどさくさに紛れ一条望と一条妹を誘拐したのが次回の伏線になっている。

今回のエンドカード：ゴーギャン

第十八話「裏切った一条さん!? 復活の一条祭り!」

宗之介の母校・桃月学園は文化祭の日を迎えていた。演劇部OBと映画研究会OBの共同作品で「ぱにぽにだっしゅ!」主要登場人物総出演、どさくさにまぎれて宗之介以外の四匹や阿藤快、士郎たちも出演した「劇映画『痛快! ぱにぽにだっしゅ! THE MOVIE 天才先生は二度死ぬ』」も無事封切りされた。ついでにどう根回ししたのか「桃月トレーディングカード 第7869弾 犬Fate第二部 another編」を発売したり風人はライメンの屋台を出したり四匹と阿藤快はいきなりバンド「THE PANI-PONIS」を結成、「黄色いバカンス パンクロックVer」、「ガールツピ デスメタルVer」、「ムーンライトラブ 雅楽Ver」などを熱唱する。しかし、文化祭中桃月学園で謎の失踪事件が続発する。早速「この世には不思議なことなど何もないのだよ、宮本君。」と宗之介が、かつて雛見沢村での怪事件を数々の名探偵と協力して解決した仁太郎が、刑事として翔十郎が、そして科学捜査研究部部长・岸田森（岸田森）が「恐怖の町」を口ずさみながら捜査を開始する。そして、一行の目の前に現れたのは「一条祭り2011 ～不死鳥～」と書かれた段ボール箱（綺麗な娘がぴつたり入つてゐた匣）であった。さらに臓硯と密談を交わす一条さんも綿貫響により目撃される。まさか一条さんは間桐臓硯に味方しているというのか!? 教師・本田博太郎（本人）の謎の行動（「THE PANI-PONIS」のステージに乱入しムーンウォークを披露）の真意とは!? そして、ネコ神様（阿部サダヲ）の背中の中チヤックの真相は!? 一条祭りに飲み込まれた大河と桜の運命は!?

解説

さりげなく文化祭のシーンの通行人役でいかりや長介、劇団ひとり、

大杉漣、などぱにぽにシリーズの名バイプレーヤーが出演していたのがファンを喜ばせた一作。今回の挿入歌「一条音頭 第1057章」はフルコーラスで11時間あり、収録の際一条さん役の野中藍氏は点滴をうちながら一気にフルコーラスを歌い上げた話は有名。あとついでに今回蘭とアーチが「ガキをさらう外道に生きる資格はねえ!!」とベホイミとメディアの地獄のコンビネーションで二人仲良く投げやりに死亡。あとどう見ても一条祭りの内部は太陽の塔の中だがこれは明らかに脚本家の趣味。

今回のエンドカード：曾我蕭白

第十九話「劇映画『痛快! ぱにぽにだっしゅ!』 THE MOVIE  
天才先生は二度死ぬ」

今日も桃月学園1年C組ではいつものようにベッキーの授業が始まるうとしていた。そこに国際テロ組織「真紅の山田隆夫」のテロリストたち（ギル、バーサーカー、アサシン、葛木、アーチャー）が乱入、桃月学園をジャックする。「西部警察」のメインテーマに乗り颯爽と登場する桃月西部警察署の刑事たち（黒戸翔十郎、春日風人、衛宮大河、中村主水、バゼット）。しかしその時、ベホイミと宗之介、カレンの合体魔法・阿藤快 ジェノサイド（阿藤快）が炸裂、テロリストをあっさり殲滅する。

一方、イギリスのグリニッジ天文台（ライダー）では天文学者トム（衛宮士郎）が一条祭りストロンガー（セイバー）の地球接近を察知する。早速そのことを桃月学園校長に知らせる風車の弥七（ジョーカー）。桃月学園校長は恐竜柳生（キャスター、アサシン、遠坂凜、ランサー、セラ）との最終決戦で大破したぱにぽにXの後継機・ぱにぽにドラゴン（柳生十兵衛）の発進を決意する。ぱにぽにドラゴンに乗り込み宇宙に出撃するC組の皆さん（レベッカ宮本、片桐姫子、橋玲、桃瀬くるみ、6号、一条さん、小梅太夫、デカルト、

模図かずお)と何食わぬ顔で乗り込んでる工藤俊作のコスプレをした渡瀬仁太郎とクイーン。そして、一条祭りはいきなり現れた大河の虎竹刀オーロラ阿藤快返し(阿藤快)で倒された。

しかし、ここで地球に宇宙人の地球殲滅一向一揆(加賀の一向一揆)が迫っていることが判明。さらに宇宙から降り注ぐゲッター線(間桐桜)、紫外線(イリヤ)、スカラー波(リーゼリット)の力ではにぼにドラゴンも真ばにぼにX(石川賢「柳生十兵衛死す」仕様の十兵衛)に進化する。石川賢風の顔で「行くぞ、宇宙人ども〜!!」  
「!!!」(グオオオオオオオオオオ 注・擬音)と絶叫し、真ばにぼにXで地球殲滅一向一揆に突っ込むベツキー。桃月暦5670000000年…真・阿藤快(阿藤快)降臨す!!! そして!!! 完  
リサリサ(エリザベス・ジョースター)はこのあとジョジョに自分が母親であることを打ち明け、ともにアメリカに移住。1948年にハリウッド映画の脚本家と再婚する。

エリナ・ジョースターは小学校の英語の教師をつづけるが1950年、みんなに見守れながら81歳の生涯を静かに閉じる。ロバート・E・O・スピードワゴン(石油王、財団設立者としてさらにアメリカの経済界、医学会を発展させたが1952年心臓発作で死去89歳、生涯独身であった。スモーク・ブラウンは苦学しながら大学へ行き、政治学を修める。そしてのちに故郷ジョージアで初の黒人市長となる。ルドル・フォン・シュトロハイムはジョジョに再会することなく1943年のスターリンググランド戦線で誇り高きドイツ軍人として名誉の戦死をとげる。そして時代は流れる  
世代は交代するPANIPONIは…!!

## 解説

前回の劇中劇をわざわざ一話使ってやった異色作。脚本は白鳥ニコルソンこと白鳥鈴音が執筆、あの白鳥人形劇団のストーリーを髣髴とさせる支離滅裂さが印象的。なお、後に出たファンディスクには13時間にわたる完全版が収録された。完全版では朝鮮妖術ノック

ラノウムで犬神と南条が入れ替わったり究極のぱにぽにX・ぱにぽにエンペラーが登場したりネコ神様が壮絶な殉職を遂げたりしている。今回のみ、主題歌は向井徳次郎「廃人の森が紅に染まる夜」。

今回のエンドカード：伊藤若冲

第二十話「レギュラー陣大特訓！！」

にせランサー：姫子のアホ毛に全身の骨を砕かれ絶命、イルア：文字通りよく分からないうちに一条さんに秒殺、セイファー：桃月柳生の使い手・くるみの無刀取り&燕返しで芸術的なまでにバラバラにされる、バーザーガー：鈴音チョップ（どう見ても岩山両斬波）で即死、蘭&アーチ：ベホイミとメディアの地獄のコンビネーションで二人仲良く死亡：と次々とゲストキャラに倒されていく「Faith/stay knight」の皆さん。また、次々と仲間が嘸ませ犬扱いで散っていくことに危機感を募らす間宮五郎以上にゲストキャラに見せ場を持つていかれ主人公たちが全然敵を倒していないため士郎は危機感を募らせていた。そのことを士郎から聞かされた藤ねえは特訓をすることを提案。翌日、早速レギュラー陣の大特訓が開始される。「Taiga & Shirou were Laining in bed」とか歌いながら河原をランニングする一行。ギルとランサーが喫茶店でサボっていたり（その後、大河の秘剣・影つつしで制裁）、不審な集団がいると警察に通報されたり一行を指差す子供に親が「見ちゃいけません！」と言ったりするが特訓は続く。さらにコーチのベホイミとメディアの本場仕込の訓練（男塾名物根性バツタ、うさぎ跳びで石段を昇り降り、千本ノック、シャドーボクシング、いまさらアプトロニック、10キロの減量、「黄色いバカンス」でエアギター）もあって士郎たちは数々の新必殺技、合体技を編み出すのに成功した！！その模様をクインは木の陰から涙を浮かべ見つめるのであった。そこに殴りこ

む再生セイファーたち。特訓の成果を見せるべく立ち上がる士郎一行。その時、ベホイミとメディアがおもむろにバケツをかぶり始めた…！

#### 解説

士郎一行そつちのけに合体技クロマチン クラッシュヤーで再生Faith/stay knight軍団を壊滅させ、間宮五郎にも両手両足、そして両目が潰れる重傷を負わせるダブルバケツマンが印象的な一作。今回半死人と化す間宮五郎だが生への執念で魔術・サーヴァント転生を行い魔人アーチに転生する（石川賢つばく）。あと士郎一行は108の新技を身に着けるが作中には全部出てくるのかは不明。

#### 今回のエンドカード：鳥羽僧正

第二十一話「戦慄！ M25マタンゴ星人の逆襲！！」

セイバーのアホ毛に生えたキノコって何なんよ？ そう十兵衛と主水は喫茶店エトワールでカレン、バゼットとジャンボパフェ（武内崇）をつつきながらだべっていた。四人仲良くメロンクリームソーダ（哀川翔）を食べていた魔人ギルガメッシュ、桃月西口商店街で食べ歩きをしていたクイーンとジョーカーをも巻き込み一行はだべり続ける。一方、当のセイバーは何の脈絡も無く一条さんのエレクトロサンダー（田中邦衛）を食らったあと様子がおかしくなっていた。一人称が「僕」になったり横山光輝タッチになったり水とイリヤを恐れたりするセイバーを見た風人はかつてチベットの山奥の寺院で読んだ古文書（松本人志）に書かれていた地球征服をもくろむ悪の宇宙人・M25マタンゴ星人（奈須きのこ）が宿主の肉体をのっとりそして破壊、胞子を撒き散らす前兆だと気づく。間一髪、バーサーカーとアサシンの合体宝具・不死鳥斬り（バーサーカーがア

サシンを「飛べー！不死鳥ー！」と言いながらぶん投げてアサシンはそのまま燕返し）がキノコをアホ毛ごと斬り飛ばすが、マタンゴ星人は巨大化してしまう。マタンゴ星人が胞子を撒き散らすまでにあと一時間しかない！ 桃月、いや、地球の危機に石川賢タツチのC組の皆さんがばにぽにXで立ち向かうが逆に追い詰められる。その時、四匹の腕のブレスレット・四匹ブレスが光を放ち始めた…！

#### 解説

奈須きのこと武内崇のゲスト出演がファンには見逃せない一作。今回唐突に四匹が「義賊・四匹チェンジ」でそれぞれ赤黒戸、青双山、黄渡瀬、黒春日に変身。合体技の義賊・四匹ストームをマタンゴ星人に叩き込みばにぽにXの反撃の機会を作るが今後この形態が出てくるのかは不明。あとついでに巨大マタンゴ星人に買出し中の魔人アーチが踏み潰されるがサイボーグ化して石川賢っぽく復活。

今回のエンドカード：たまには真面目に武内崇

#### 第二十二話「必殺！サーヴァント仕置人」

ある日、綿貫響は現謀報部部长・M（市原悦子）からベッキーや法隆寺初夏彦こと双山宗之介たちの活躍で悪事を暴かれ、大岡越前（加藤剛）と遠山の金さん（松方弘樹）の合体お裁き・お奉行マーブルスクリュー（ウォーズマンがバツファローマン戦で使ったあれ）で家財没収、お家取り潰し、そして沖之毒島（インディアン島）へ島流しにされていた日影たづ（阿部サダヲ）が沖之毒島を島抜けしたことを知らされる。さらに謀報部部員シヨーン・コネリー（本人）の調査により桃月に戻ってきたたづは田島コンツェルン会長・田島屋伝兵衛 21st Century（津川雅彦）と裏社会のボス・宮本べきえもんZX（ブラック宮本）と組みベッキーなど自分を今の立場に追いやった人物への復讐を企てていることが判明。早速響

はこのことをアジトの廃ビルでレベッカ宮本たちに話す。その後、麻生姉妹が殺し屋・ナツクル（浜田雅功）の手により轢き殺されかけたことだからベツキーは小学校編の関係者の護衛をセイバーたちに頼むであった。次々と犬神雅や一条望、ベツキーたちに送り込まれる刺客たちを合体宝具で蹴散らしていくサーヴァントの皆さん。だが、ベツキーの前に現れた殺し屋・ガッツ（ガッツ石松）がベツキーの天才エネルギー（山田風太郎）を吸い取って彼女を十字架にかける…。さらに犬神雅、一条望、麻生麻尋、柏木優奈、優麻双山宗之介もたづ一味の手に落ちた。そのせいでオオサンショウウオ、ネコ神様、ヒロスケ、タヌキを失ってついに堪忍袋の緒が切れた姫子、玲、くるみ、6号、一条さん、都は中村主水、翔十郎、仁太郎、そして風人と組み日影たづ一味の位置を決意する。作戦名は「レベッカの星作戦」だ！ 頼み人はガッツの部下・アロン（薩摩剣八郎）にSATSGAIされたメソウサだ。十人は「仕置のテーマ」をBGMに一味が密談を交わす料亭（大前均）に出陣するのであった…。

#### 解説

「必殺ぱにぼ人」シリーズへのオマージュであふれた一作。脚本化いわく「小学校編の正当な続編」らしい。例の如く津川雅彦の芸術的な死に様は必見。あと今回「ぱにぼにだっしゅ！」〜小学校激闘篇〜第六十八話「宗之介壮絶死！ クラウザーさん怒りのタンバリンレイプ！」において全身を銃弾で撃ち抜かれ重傷を負った宗之介を助けたのは王大人という事実が明らかになった。ちなみに姫子、玲、6号、一条さん、都の殺しは「ぱにぼにだっしゅ！」第三拾四話「死して屍拾うものなし」とほぼ同じだがその他の中村主水以外の面子は「必殺シリーズ」の殺し屋のコスプレとその殺し技で殺しを行った。詳細は以下のとおり。

桃瀬くるみ：巳代松

黒戸翔十郎：棺桶の錠

渡瀬仁太郎：知らぬ顔の半兵衛

春日風人：土左衛門

今回のエンドカード：木村知夫

第二十三話「セイバーの虫歯が痛い！」

前回、永年の宿敵・日影たづを地獄の底に叩き落したベッキーたちは近所の回転寿司屋で打ち上げを行っていた。6号の「いいんですか!？」というツッコミを無視して貸し切りだ。握る暇さえありやしないほどカニ寿司（カニ奇械人）を食っていく姫子。寿司より早く回る一条妹。一条さんは醤油を濃い口で持込だ。酒の勢いで「ルーレット ルーレット」を絶唱する阿藤快と四匹。それを見て十兵衛はゲラゲラと笑い転げる。だが、デザートのメロンを食べたセイバーが突如歯痛を訴えた。それを見た風人はアフリカのとある部族（グループ魂）の伝説（恋のミクル伝説）からセイバーは虫歯であることを看破する。セイバーは加藤茶（本人）の「歯あ、磨けよな！」の一言を無視したために虫歯になったのだ。そんなセイバーに大河は歯医者に行くことを勧める。しかしセイバーは「歯医者は痛いからやだ、ファツキュー!!!」と子供じみた理由で断固拒否。しまいにはエクスカリバーを振り回し店を出て行ってしまった。途中魔人アーチが立ちはだかるがセイバーは彼をあっさりと斬り捨てるのであった。そんなセイバーを歯医者に連れて行くべく追いかける一行。だが、セイバーはいつもの採石場にて戦う気満々であった。「歯医者なんか最後だ」をBGMに新必殺技・卍エクスカリバーの構えを取るセイバー。それに対しセイバー以外の元祖サーヴァントの皆さん、中村主水、柳生十兵衛は合体技アンシャンレジュームを仕掛けようとする。だが、この技は本来は8人のサーヴァントと主水、十兵衛でやるものでもし一人でも欠けていたら技の成功率はほ

ば1%となり、失敗すると全員が死亡するという恐るべき技であった…。果たして彼らはこの技をセイバーに叩き込み、彼女を歯医者に連れて行くことができるのか!?

#### 解説

この手の話のご多分に漏れることなく放送時間の大半を（以下ほぼ同文）。なお、暴走したセイバーはまたもやいきなり現れた鈴音の鈴音テレパシーで倒された。今回の挿入歌には朝比奈ミクルwith hミクルーズ（倉田てつを、水原暦、ジャイアン、中居正広）の「恋のミクル伝説 神話Ver」が流れ「涼宮ハルヒ」シリーズのファンを喜ばせた。ちなみに今回あっさり一刀両断にされたアーチだが石川賢っぽく復活。第一部におけるギルバリのヘタレキャラと化しているがまあ気にするな。

#### 今回のエンドカード：雪舟

#### 第二十四話「衛宮士郎発狂！」

ある日、何の脈絡も無く士郎は天草四郎の魔法で発狂した。発狂した士郎はいきなり桜に抱きついたり十兵衛×主水、ランサー×主水、犬神つるぎ×主水など無意味に主水受な小説を書いて某巨大匿名掲示板（ステイブン・セガール）にアップしたり前回の四匹&阿藤快歌唱の「ルールレット ルーレット」をオリコンチャート一位にしたりとやりたい放題。またまたそこに通りかかった鈴音が鈴音テレパシーを叩き込もうとするがいかんせん士郎にはアホ毛が無いのでまったく通用しない。さらに士郎を止めるべく出動したロボウサ850（アーノルド・シュワルツネッカー）も人体模型のタローくん（ジャン・クロード・ヴァンダム）もアゾット剣（阿藤快）で破壊された。もはや士郎を止めるすべは残されていないのか？ だがその時、一条さんが大河に眼鏡をかけさせた。するといきなり大河に

スタンド・ライブニッツタイガー（姫子が「遊びタイガー」と言ったとき出てきたあれ）が発現。ライブニッツタイガーの竹刀から繰り出す一撃で士郎は倒れた。だが、天草四郎を、さらにその後ろにいるZOUKENを倒さなければ衛宮士郎は正気に戻らない。衛宮大河とサーヴァントの皆さんはZOUKENを倒すためにエジプトへ向かうのであった。To be continued..。

## 解説

エジプトに向かうため自由の風（本田博太郎）をつかまえながら風はおいらが起こすんだと言わんばかりに帆船・てんてん天下のタイガー丸が大海原に船出するシーンで、「これまでのことはなかったこととしてください」に切り替わるのが印象的な一作。今回登場する異様に耽美な絵柄の主水が印象的。本物とのギャップはジャイアンときれいなジャイアンのそれを遥かに超えている。っていうか犬神つるぎ×主水って何だよ、十兵衛×主水はまだしも。

今回のエンドカード：高橋由一

第二十五話「解けた！モエビヨリの謎！」

番組開始5分でいきなり「モエビヨリ」の謎がクイーンの呼んだ夢水清志郎によつて解けた。それによると真の聖杯はロドリゲスの家の庭の物置にあるということであった。早速ロドリゲスの家に向かう士郎一行。だが、その目の前に魔人ギルガメッシュの四匹が立ちはだかる。ランサーとギルが近所のメイド喫茶「エンジェル エイド ボム」でだべっていた内容をコーヒーマ杯と水で5時間だべり続けていた魔人ギルガメッシュが聞いたのだ。そして、四匹が四匹以外の面子を逃がし魔人ギルガメッシュに立ち向かう。だが、魔人ギルガメッシュからの通信を受け魔人サーヴァントの皆さんが追つて来る。その追撃に対しまず士郎はバゼットの義手（なんか百鬼丸

つぱい)をもぎ取りブン投げた。爆弾になっていた義手で吹っ飛ぶ魔人キヤスター。続いて士郎はセイバーのアホ毛(ザ・ムーンの部分)をちぎってブン投げる。ブーメランの要領で飛んだアホ毛が延髄に突き刺さり魔人バーサーカー死亡。今度は近くを通りかかった鈴音をブン投げる士郎。合体技・鈴音マジカルフラインググローリングチョップで魔人アーチャー即死：とこんなやり取りが続いているうちに士郎一行はロドリゲスの家に着いた。一方、魔人サーヴァント軍団は魔人セイバーのみとなった。しかし、ダースベーターのテーマをBGMにロドリゲスの家の居間で番茶をすすっていたのは間桐臓硯であった…。

## 解説

「犬フェイト第二部 another」も今回から佳境に入る。「モエビヨリ」と中原中也詩集に隠された意外な秘密はここでは明かすことができない。ヒントは阿藤快が魔術師をやめ俳優への転向を決意した事件と「魔界転生しタイガー」の一言とだけ言っておこう。あ、鈴音さりげなく三話連続出演だわ。だからって別に脚本家は鈴音派ではない、マジで。どちらかといえばメソウサ派です。肝心の聖杯だが庭の物置のガラクタ入れにぞんざいに打ち捨てられていたのが気にかかる。

今回のエンドカード：横尾忠則

第二十六話「大激闘！ 最後に笑うのは誰だ!？」

夢水清志郎の推理どおりロドリゲスの家の庭の物置の中に真の聖杯はあった。まずそれを手にしたのはカレン&バゼットであった。しかし二人は「新入りの癖に生意気」と桜、大河に正座をさせられ一時間の説教をされる。そして、真の聖杯を凜は近くにいた魔人アーチに間違えて手渡す。かくして臓硯の手に渡る真の聖杯。そこに新

生四匹を斬り殺したと元祖四匹がやってくる。臓硯から聖杯を見るためにそれを受け取る元祖四匹。その時、元祖四匹は聖杯を持ったまま士郎側に走る。そう、前回新生四匹と斬り合ったことが原因で魔人ギルガメツシュこと元祖四匹は本来の魂を取り戻したのであった。正気に戻った元祖四匹は聖杯を士郎に預け諸悪の根源・臓硯に斬りかかる。だが、臓硯が投げつけた面が元祖四匹の顔に張り付く。その面は人を己の意のままに操ることのできる臓硯秘蔵の恐るべき面であった。完全な臓硯の傀儡と化した元祖四匹は士郎一行に襲い掛かる。そして、彼らの猛攻に士郎一行は圧倒され真の聖杯は臓硯の手に渡るのであった…。一方そのころ、新生四匹は元祖四匹を正気に戻したので後からやってきたクイーン、ジョーカー、夢水清志郎とともにハイテンションに近所のメイド喫茶「エンジェル エイド ボム」で打ち上げをしていた…。第二部 第一章「宮田晶の哀歌」・完!!!!

#### 解説

第二クール of 締めくくりを飾る一作。聖杯はもう手に入ったものと思つて「エンジェル エイド ボム」で豪遊する四匹たちの素敵な笑顔が印象的。ちなみに「エンジェル エイド ボム」で語らつた四匹たちの夢はそれぞれ以下のとおり。

翔十郎：一年中有給休暇。

宗之介：一生和菓子食べ放題。

仁太郎：宇宙刑事。

風人：家族円満。

クイーン：面白いお宝。

ジョーカー：クイーンがもっと真面目になりますように。

夢水清志郎：世界のうまいもの食べ放題。

今回のエンドカード：2クールも終わりだしたまには真面目にみつ

み美里。

第3クール(27〜39話)(前書き)

モロに仮面ライダーSPIRITSを意識した第3クール目です。

### 第3クール(27〜39話)

第二十七話「間桐臓硯の日本侵略作戦!!」

ついに聖杯を手に入れた臓硯はマキリの魔術師が支配する世界を作るため手始めに日本侵略を開始した。まず臓硯は大首領と融合したアンリ・マユを自らのしもべとして、さらに前々回で士郎に次々と倒されていった魔人サーヴァント軍団を復活させた。魔人サーヴァント軍団、再生TYPE・MOON悪役軍団、アンリ・マユの生み出した怪人軍団を日本各地に送り込む臓硯。次に臓硯が目をつけたのはシナリオを与えられなかったサブヒロインの怨み、アニメ版で主人公とくつつくことができなかったエロゲーのヒロインの怨みなど萌えの裏に渦巻く怨念であった。その怨念のエネルギーを利用し強化される魔人サーヴァント軍団、TYPE・MOON悪役軍団、アンリ・マユ怪人軍団。そしてそのエネルギーは廃棄されたメイドロボの残骸と融合し臓硯の新たな尖兵・萌怪ほっかいを生み出すのであった。間桐臓硯の侵略でパニックに陥る日本。この緊急事態に士郎一行はそれぞれのグループに分かれて日本各地に散らばった臓硯の尖兵たちの各個撃破を決意する。さらに、士郎の知らせにより世界各国のTYPE・MOONキャラが士郎たちを助けるべく次々と日本に集結してきた。かくして、TYPE・MOONキャラの臓硯への反撃が開始された……。

#### 解説

第三クールの先陣を切ったいつに無くシリアスな一作。日本各地に散った敵を各個撃破していく展開は明らかに「仮面ライダー Spirits」を意識しているがまあ気にするな。ってな訳で次回から日本縦断臓硯軍団撃破&うまいもの巡り&わざとらしい口調で巡る観光名所の旅編の開始です。

今回のエンドカード：村枝賢一

第二十八話「東北篇 起動！ アイんツベルン城！！」

イリヤとバーサーカーは魔人バーサーカー・弁慶を倒すべく東北地方に来ていた。きりたんぼ、牛タンなど東北各地のうまいものを堪能し松島など観光名所をめぐったイリヤとバーサーカーは東京の遠野家から二人をサポートすべく来た琥珀、翡翠に合流する。途中サービスカット（バーサーカーの入浴シーン、バーサーカーのコスプレ、バーサーカーのパンチラオブジョイトイ）を交えながら魔人バーサーカーの待つ平泉に向かう一行。そこに現れるアンリ・マユ怪人軍団と萌怪軍団。彼らの軍勢は圧倒的な人数で攻めてきたため、琥珀の仕込み刀は折れ薬品も底をつき、翡翠のうめサンドはなくなるしバーサーカーの斧剣もひびが入りへし折れてしまう。急いでご飯粒で斧剣をつなぎあわそうとするバーサーカー。だが、容赦なく怪人軍団たちは攻撃をやめない。そんな窮地に陥った一行を助けたのはアイんツベルンの森からリーゼリット&セラの操縦で発進した超機動要塞・アイんツベルン城（丹波哲郎）であった…。

解説

ここで思い出したようにリーゼリットとセラが登場。二人が「北酒場」を熱唱しながら現れるシーンは必見。「二人のこと忘れてませんよ、忘れ去つてませんからね！ あ、さりげなく第二部 a n o t h e r で二人の名前が出てきたのたぶん今回がはじめてだわ。」とは脚本家の言葉。

今回のエンドカード：杉浦茂

第二十九話「東北篇 アイんツベルン大將軍誕生！！」

アインツベルン城のアインツベルン砲で次々と怪人軍団は吹き飛ばされていく。そして、遂にイリヤたちは弁慶の待ち受ける平泉に到着した。しかしその時、イリヤは潜んでいた伏兵に弓矢で射抜かれて倒れてしまう……。リーゼリットとセラ、そしてヒスコハのダブルメイド姉妹クラッシュヤーで伏兵は爆殺されるものの虫の息のイリヤ。その時、アインツベルン家に代々伝わるアインツベルンの鎧が奇跡を呼んだ！ アインツベルンの鎧が突如イリヤに装着され、イリヤはアインツベルン大將軍（高橋英樹）への出世を果たしたのだ！ 早速アインツベルン大將軍はバーサーカーと合体、アインツベルンフェニックス鳳凰に変形し魔人バーサーカー・弁慶に立ち向かう。そして、魔人バーサーカーはリーゼリット、セラ、ヒスコハの合体技・メイドさんHIPPOPビームで轢殺されるのであった……。

## 解説

今回のダブルメイド姉妹の共闘はそこそこ燃える展開であったがいかなせんイリヤが出世してなったアインツベルン大將軍を演じたのが高橋英樹だったため全国のイリヤファンからブーイングを浴びた。先に魔人バーサーカーを始末されたアインツベルン大將軍がやり場の無い怒りのあまりリーゼリットとセラに半年間の減給処分を加えるシーンが印象的。ちなみに彼女が先輩のヒスコハには何ら手出しできなかったのはTYPE-MOONキャラの厳しいヒエラルキーを象徴していた。

## 今回のエンドカード：ダリ

### 第三十話「北陸篇 野生の7人」

黒部ダム（ゆうつらろう）を決壊させるために魔人ネロ・カオスは黒部ダムに来ていた。彼は手近にいた釣り人（七志野藤兵衛）をSATSUGAIし黒部ダムを占拠する。一方、ライダーと間桐桜、そ

して元魔人ライダー・飛葉大陸を援護するために北陸地方に来ていた両儀式と黒桐兄妹は三人に合流した。そこにネロ・カオスが黒部ダムを占拠したという知らせが入る。早速彼らはネロ・カオスを倒すためにバイク、銃の準備を整える。だが、この手の面子は七人いるというのが相場なのに飛葉大陸、両儀式、黒桐三起也、黒桐鮮花、ライダー、間桐桜と一人足りない。緊急で「TYPE・MOONキヤラの弟オーディション」を開催し土産物屋の親父・久保さん（荒川良々）を仲間に入れた一行はお前がやれぬことならば、俺がこの手でやってやると言わんばかりにバイクで向かう。そして、その姿を見て「メイドや魔法少女がバイク乗り回して拳銃撃ちまくるってどうよ？」ってな訳でオーディションに落ちたベホイミとメディアは戦場にいた時代に風の噂に聞いたワイルド7の話の思い出すのであった……。

#### 解説

仲間になってからいまいち出番のなかった飛葉大陸の主役回。だが間桐桜がどう見てもへボピー、ライダーが両国、両儀式がオヤブン、鮮花がチャーシューだったのは全国のファンの輦轡を買った。あと今回間桐桜の用意した戦闘服（デザイン・岡本太郎）は飛葉の用意した制服であえなくお蔵入りしお披露目は終盤になってからであった。

今回のエンドカード：望月三起也

第三十一話「北陸篇 黒き獣を撃て」

黒部ダムに行く道中、トイレ休憩によったパーキングエリアで遂に桜は飛葉にブチ切れた。せっかく去年のアストロ球団っぽい特訓（猪木のビンタ、エアギター、凜との二人羽織で熱々おでんを食す、とりあえずお約束の鉄球）の果てに黒桜の力を自分の意思で使いこ

なせるようになったのに飛葉からそんなものより銃を使えと言いつたれたからだ。口論の末、バイクに乗って疾走する桜。そこに欠員が出たら私たちを入れる、報酬は1万ドル(うまい棒1億本)でスイス銀行(西川きよし)にといわんばかりにやって来たベホイミとメディアを軽くスルーして一行は黒部ダムに着いた。当然の如く襲撃してくるネロ・カオスの黒い獣(ブラックキング、ブラックエンド、江戸の黒豹、ボビー・オロゴン、三遊亭楽太郎、ゾマホン、超絶的にステレオタイプな土人など)。一行は激しい銃撃戦の末、66の獣を殲滅した。だが、ネロ・カオスは最終形態(港カヲル)に変身、飛葉たちにパイプイスで襲い掛かる。ネロのパイプイス攻撃で絶体絶命の時、そこにやってきたのは間桐桜であった……。

#### 解説

桜にツンデレ属性がつきもう何がなんだかな一作。桜と飛葉の口論のシーンは実際にあったものをこっそり撮影したらしい。その後の殴り合いのシーンが演技とは思えないのはそのためか。なお、原因はロケ弁に入ってた唐揚げの数と後に脚本家は述懐している。

今回のエンドカード：またもや望月三起也

第三十二話「北海道篇 主水と小次郎、下町の路地裏同盟に会う」アサシン・佐々木小次郎と元魔人アサシン・中村主水は北海道に渡った魔人アサシン・岡田以蔵を討つべく北海道に来ていた。一方、当の魔人アサシンは悪代官・宮本べきえもんBLACK RX(ブラック宮本)と癒着。べきえもんは臓硯の日本侵略のどさくさに紛れ道民にはうはう税2006(一度泣いたら罰金百円)を課し理不尽な搾取を行う。さらに中村主水とアサシンが北海道に来るといいう情報をキャッチしたべきえもんは二人を指名手配する。指名手配されてるのを知らず主水とアサシンは小樽で運河、裕次郎記念館など

を観光しカニとかじゃがバターを食べていたところを警察に見つか  
つてしまう。警察に追い詰められるアサシン&主水。だが、そこに  
現れたのはエジプトから駆けつけたシオンと弓塚さつきであった。  
オメエらワラキアの夜のいる京都に行くべきじゃなかったのかとい  
う主水のツツコミを無視しエーテライト（夜叉丸のあれっぽい）で  
警官隊を薙ぎ倒していくシオン。二人のおかげで何とか逃げることに  
成功した主水とアサシンは理不尽な搾取に苦しめられる道民から  
金を受け取りべきえもんBLACK RXの仕置を依頼される。だ  
が、べきえもんの身の回りは鬼の岩蔵2世（今井健二）、改造権の  
四郎（津川雅彦）ら必殺シリーズ悪役軍団が守っていた……。

## 解説

文章で書くともたもだが実質はアサシン&主水のいい旅夢気分と化  
していた一作。ちなみにシオンとさつきが北海道へ行く羽目になっ  
たのは京都の観光がなかった遠野志貴2号にじゃんけんで負けた  
かららしい。あと悪質なほうはう税の取立てを行う悪徳同心（石橋  
貴明）と悪徳岡っ引き（中居正広）を主水が仕置するシーンに第二  
十二話で日影たづを地獄の底に葬り去った宝具・悪を貫く虚を衝く  
一撃を使うが、セコ突きにわざわざエクスカリバーばりの派手な演  
出するのはどうかと思った。

今回のエンドカード：月岡芳年

第三十三話「北海道篇 主水、北の大地で大仕事！」

ラーメン屋でべきえもんBLACK RXを仕置するための策を練  
る主水、アサシン、そしてシオンとさつき。そこで一行は、屈斜路  
湖へクツシー（キングブラキオン）を探しに来ていた教授と上原都  
に出会う。さらに諜報部所有の人工衛星・カジノロワイアル8号の  
調査によりべきえもんBLACK RXは今晚、屋形船（砕氷船・

シオン・コネリ

宗谷)で流氷見物に行くことが判明。一行はその機に乗じて彼女の仕置を決意する。一方、魔人アサシンはその腹中に練っていた計画・北海道要塞化計画(日本印度化計画)の邪魔者となったべきえもんBLACK RXを幽閉し、屋形船で流氷見物に行ったとき、酔っ払って海に転落したという形で始末しようとする。そして、仕置の時間が刻一刻と迫る。一行は旭山動物園で仕置の手筈を確認していた。もしかしたら剣鬼・魔人アサシンの凶刃の前に倒れる者が出るかもしれない……と珍しくシリアス風味な中村主水の脳裏に魔人サーヴァントとして転生する前に裏稼業を共にした仲間たち(大出俊、柚木涼香、パッション屋良、テンペラー星人など)の顔がよぎる…。BGMは藤田まことの「月が笑ってらあ ボサノバVer」だが、そこにアサシンの手により必殺シリーズ悪役軍団と仕留められた悪人の怨霊が融合され誕生した最強にして最悪の悪役・グランド田島屋伝兵衛(津川雅彦)が来襲、その圧倒的なパワーで主水たちを追い詰める。そこに主水を救うべく現れたのは棺桶の錠(沖雅也)、やいとや又右衛門(大出俊)、フォーク屋涼(柚木涼香)ら主水と裏稼業を共にした歴代の殺し屋全員であった。しかしそこで主水が、「おれたちは何か重大な間違いをおかしているのではないかと気付き始める。」

## 解説

歴代殺し屋軍団がいきなり登場するシーンは唐突過ぎる感が否めないがやはり圧巻な一作。なお、仕置には上原都が念仏の都コスで参加。「ぱにぱにだっしゅ！」第貳拾四話「死して屍拾うものなし」で披露した頭突きのほか骨外しや怪力で標的を伊藤さんに整形する(麦茶と間違わせてめんつゆを飲ませる)という荒技を披露している。なぜかここで上原都が念仏の鉄の子孫ということがほめかされた。ちなみにお約束ながら棺桶の錠役の沖雅也氏は「俺たちは天使だ！」のアイキャッチのアニメ。

今回のエンドカード：ラスコー洞穴の壁画を描いた人。

第三十四話「九州篇 桜島の決闘、阿藤快対蒼崎青子！」  
魔人キヤスター・天草四郎が上陸した九州にはキヤスターと葛木、そして阿藤快が来ていた。新婚旅行気取りのキヤスターと葛木は置いといて阿藤快は鹿児島でかつての親友であり魔術師仲間の蒼崎青子に会っていた。青子は魔人キヤスターが企てている作戦・桜島噴火作戦を阿藤快に知らせる。早速かるかんをかじりながら桜島のキヤスターのアジトへ向かう阿藤快と青子。だが、その時突如青子が阿藤快到襲い掛かった。指先からのレーザー（ジャイアントロボのミサイルっぽい）、どっかのココロのスキマを埋めるセールスマンのドーン！！っぽいやつ、ナポレオンズ風味の首回転マジックで阿藤快を追い詰める青子。阿藤快もかつての親友相手に青子の恥ずかしい過去（泥酔してマクドナルドでスマイル100個注文、魔術協会の慰安旅行で間違えて隣の老人会の旅行に紛れ込む、下積み時代は内職でベルトの穴に通す棒状の金具を作っていたなど）暴露やグルメのリポートでしか立ち向かうことしかできない。そこに阿藤快の連絡を受けキヤスターと葛木がやって来た。蒼崎青子は魔人キヤスターの妖術に操られていると早速看破するキヤスターは魔人キヤスターの妖術を破るためにマヨネーズを蒼崎青子に投げつけるのであった……。

#### 解説

今更のように阿藤快がかつて史上最強の魔術師と呼ばれていたという設定が生かされた一作。なぜか今回のみ食事のシーンはヤン・シユヴァンクマイエル風味。なぜマヨネーズを投げると魔人キヤスターの妖術が破れるのか原理は不明。

今回のエンドカード：ミレー

第三十五話「九州篇 戦え！ 魔術師軍団！！」

青子も正気に戻り魔人キャスターのアジトに殴りこむ一行。だが、アジトはすでもぬけの空と化していた。魔人キャスターの桜島噴火作戦はあくまでも阿藤快たちをおびき寄せる陽動作戦に過ぎなかったのだ。魔人キャスターの真意は原城に眠る莫大な怨霊を利用し巨大な萌怪を生み出すことにあつた。かくして、魔人キャスターの計画は成功し巨大な萌怪が誕生した。巨大萌怪は東京……もとい江戸を目指し進撃を始める。それを食い止めるべく魔人キャスターの魔法・瞬間移動で巨大萌怪の元にやって来るキャスター、葛木、阿藤快、そして蒼崎青子。かくして魔術師軍団対魔人キャスターの死闘の幕が切つて落とされた。巨大萌怪に対抗するためにラブラブフアイアーに変身しオジンガーZ（橋爪光男）を召喚する葛木とキャスター。そして、蒼崎青子はそれに便乗しおもむろにキャシイ塚本の、阿藤快はエキセントリック少年ボウイのコスプレを始めるのであつた……。

#### 解説

前半は割と珍しくシリアスに進んだが後半のごつつええ感じのコスプレがすべてを台無しにしている感がある一作。散々引つ張つておいたのにキャシイ塚本コスの青子にジャンボ餃子を投げつけられて巨大萌怪が死亡というのはいかなものか。

今回のエンドカード：白隠

第三十六話「沖縄篇 帰つてきた柳洞一成！」

南国・沖縄は今魔人アーチャー・那須与一の脅威にさらされていた。そこに駆けつけたのは凜と元祖アーチャー、蒼崎橙子、そして冬木

町から駆けつけた又吉イエスであった。とりあえず海でスイカ割り（1km先のスイカまでの道のりには地雷、箱の中身は何でしょねクイズ、コブラ、ドーベルマン、横山光輝タッチの伏兵を設置）を楽しむ一行。一方その頃、近くの海の家では北陸篇で「TYPE-MOONキャラの弟オーディション」を受けようとしたものの「いや、お前ら『弟』じゃないじゃん」ってな訳で門前払いされふてくされたステンノとエウリュアレがちんすこうをつまみに泡盛をあおっていた。彼女らは、凜やイエスにパシリでポカリと焼きそば、ジョージアマックスを買いに行かされたアーチャーと偶然合流し半ば無理やり凜一行に加わった。そして一行を襲撃する那須与一率いる騎馬軍団。那須与一はアーチャーに弓の使い手としての勝負を申し込む。早速アーチャーを那須与一にけしかけようとする凜。だが、アーチャーは弓をうつかり双山神社を出る際忘れてきたことがここで判明、凜に半年の減給処分を食らう。仕方が無いのでここはアーチャーの代理として凜がガントを構え立ち上がるのであった……。

#### 解説

柳洞一成こと又吉イエスの再登場がファンを大いに喜ばせた一作。アーチャーが「クロマティ高校」でいうパシリの田中のポジションになっているのはまあ気にするな。あとついでに蒼崎橙子があまり目立ってないのは脚本家が空の境界未読だかららしい。

今回のエンドカード：米倉斉加年

第三十七話「沖繩篇 誕生、カレイドルビー！！」

船の上の扇子を射抜くという勝負の末、凜のガンド（殺人L字ポール）と那須与一の弓はほぼ互角の腕前であった。ガンドと弓を捨て、ひたすらに殴りあう二人。だが、凜は七年前の聖杯戦争における悪魔超人・殺人コンプティーク（ケロニア）との戦いで受けた古傷が

再び開き倒れてしまう。そこへルヴィアがやって来て「ここで死んでは困る。お前を倒すのは……、俺なんだからな」とありがちな台詞を吐きながら大久保理工大（ものつくり大）、鳥羽一郎力研究所（ZAT）、ラーマヤーナ幼稚園うさぎ組のみんな（天正遣欧使節）の技術の粋を集めて生み出されたカレイドステッキ（バスコダガマ）を凧に託す……。 「兄弟船」を百倍速で三回熱唱することにより、凧の魔法エネルギー（荒山徹）が頂点に達し、各国首脳（インスタントジョンソン、男爵ディーノ、タイハウバツファロー、ネコ神様など）の承認と市役所への届出を経て人工衛星・裕次郎七号からコンバットスーツ（オシシ仮面）が凧に転送され、彼女は、魔法少女・マジカルルビーに1ミリ秒で蒸着するのだ！（ナレーシヨン・政宗一成） 所でさかず那須与一とアンリ・マユ怪人・萌怪軍団を地獄の火の中に投げ込む柳洞一成。華々しく登場したのはいいものすごくさまやることの無くなったカレイドルビーは手持ち無沙汰に主題歌「恋の三顧の礼」（「アタックオブザキラートマト」のテーマ）を熱唱しながらグッズ（マジカルルビー奈良漬け）を売りさばくのであった……。

#### 解説

柳洞一成の「地獄の火の中パターン」が久々に復活しファンには嬉しい一作。華々しく登場したが活躍の場が無かったマジカルルビーに漂う哀愁は「ドナドナ」の売られていく子牛に通じるものがある。あ、今思い出したけどステンノとエウリュアレ出し忘れたわ。ちなみに劇中出てくる殺人コンプテイクと凧の戦いは第一部放送当時の片桐姫子先生による漫画「犬Fate/stay night 羽衣編」で描かれている。

今回のエンドカード：草薙画伯

第三十八話「京都篇 怪盗クイーン京都に立つ」

京都では魔人ワラキアの夜により5年後にアメリカ・コロラド州の農夫・ミツチエルさん(58歳)の自宅で発生するはずだったタタリが発生していた。そこに京都奪還のため怪盗クイーンが着流しで、ジョーカーが木枯し紋次郎のコスプレでやって来た。五条大橋で萌怪軍団に襲撃されるもののそれを牛若丸気取りで秒殺し京都觀光にいそむ二人。そこに合流したのは元七夜志貴の遠野志貴2号と有間都古であった。ワラキアの夜は人の不安に思ったものに擬態するから気をつけるとクイーンとジョーカーに忠告する志貴2号。そこでクイーンが論より証拠と言わんばかりに初樓の皆さんやシャクテイ、ヴォルフ、果ては魔人サーヴァントや「Faith/stay knight」の皆さんを「不安のイメージ」として想像。想像された彼らはタタリの手により具現化されクイーンたちに襲い掛かる。数時間後、具現化タタリ軍団を全滅させた一行は喫茶店で休憩していた。もし『偽者は本物に劣る』というお約束が無ければ確実に彼らが全滅させられていたであろう。流石にこれには七夜志貴も都古も怒り心頭。喫茶店を破壊したほどの乱闘の末、彼らはクイーンとジョーカーとは別行動をとることを決意し、さらに京都にクイーンがいるとICPOに通報するのであった……。

解説

京都篇の前編。名前と「MELTY BLOODの際ワラキアの夜」によつて複製されるも都古の都古ヘッドクラッシュャーを喰らい洗脳が解け、有間家に住むようになる」という設定のみ出していた遠野志貴2号こと七夜志貴が初登場。今回の都古のTシャツの文字は「こんな げーむに まじになって どうするの 1点」。都古はキャラクターマテリアルに載ってたとかいう大人になった都古だと思いいえ、俺キャラクターマテリアル持ってないから知らんけどとは作者の言葉。

## 今回のエンドカード：仙涯

第三十九話「京都篇 一夜の大芝居!」ワラキアの夜の最期!」  
七夜志貴の通報を受けたICPOから派遣され、二人に合流したのは、探偵卿補佐代理心得である乾有彦とななこであった。有彦は、クイーンを逮捕すれば肩書きから「補佐代理心得」が消えるはずとクイーン逮捕に情熱を燃やす。その頃、ワラキアの夜は古都京都の文化財すべてを自らの手中に納めるべく京都無血占領作戦を開始した。飛行船から酸素消滅ガス（皆川猿時）を散布し京都府民皆殺しを目論むワラキアの夜に清水寺にて立ち向かう七夜志貴と都古。だが、志貴と都古の奮戦むなしく飛行船は空へ舞い上がった。ワラキアの夜は勝利を確信し哄笑する。しかし酸素消滅ガスが散布される直前、ワラキアの夜の飛行船はそれよりもはるかに巨大な飛行船……トルバドールに収容された。クイーンの指令を受けたRDの仕業であった。さらにRDによって酸素消滅ガスの散布装置も解体され無効化された。ワラキアの目前に有彦とななこの変装を解き颯爽と現れるクイーンとジョーカー。予想だにできなかった作戦の失敗に激昂するワラキアの夜は配下の改造ネロ・カオス、にせ遠野秋葉、にせ遠野志貴、シヨツカーアルクエイドを引きつれ志貴、都古、クイーン、ジョーカーに決戦を挑むのであった……。一方その頃、有彦とななこは八橋を食べながら金閣寺を見学していた。料金をICPOのツケにして……。

## 解説

第三クール締めくくりを飾る一作。何かとタイアップが目立つ最近の話だが今回は特に目立ち登場人物は常に京都の名産品を食べているし背景が必ず京都の名所だったりする。今回の都古のTシャツの文字は「日本竹馬連合会」と「柳生大戦争」。ラストで有彦が志貴からの連絡を受け冬木町へ向かうのが次回への伏線になっている。

また、ワラキアの夜を演じた岸田森のいきなりカツラを脱ぐ、半泣  
きでバハマに帰りがるといった怪演は必見。

今回のエンドカード：鳥山石燕

第4クール（40～52話）（前書き）

魔人として転生した臓硯との死闘に遂に終止符が打たれる！ 仮面ライダーとかウルトラマンを巻き込みながら。全体的にハイテンションな話が多い。

## 第4クール(40〜52話)

第四十話「中国篇 切支丹忍法・大基督」

愛機のサイドカーで冬木へ向かう有彦とななこ。その目の前に現れる萌怪とアンリ・マユ怪人軍団。窮地の二人を救ったのはバチカンから派遣されてきた埋葬機関の部隊であった。そして、かつて犬Fate第一部の舞台となった冬木町。ここもまた臓硯の日本侵略の脅威にさらされていた。だが、そんな冬木町を守る者たちがいた。そう、大門率いる冬木町西部警察署の皆さんと藤村雷画率いる藤村組の皆さん、そしてカレンの股肱・フランチェスカ次郎とミカエル源蔵をはじめとする居残り組である。そこに半泣きで現れたのは最初から存在自体なかったことにされてたアヴェンジャーであった。まあそんなことは置いといてフランチェスカが切支丹忍法で操る大基督(大武仏)が萌怪軍団を蹴散らしミカエルの切支丹忍法・キャピタルバードがやって来た魔人アーチを再び東京へ送り返す。そして、冬木市にやって来たのは魔人ランサー・宝蔵院胤舜だった。彼の狙いは、冬木市に眠る龍神を目覚めさせ冬木市に大地震を起こし冬木市一帯を壊滅させる冬木市スタスタ作戦の遂行にあった。彼は、高い霊力(bゲッターの力)を持ったななこを竜神を目覚めさせるための生贄に捧げるべく、彼女、ついでに有彦を捕らえるのであった……(ざると人参、紐と棒を用いたトラップを使って)。

解説

冬木市篇の前編。序盤で早々と退場したキャラたちや第一部に登場したキャラたちの再登場はファンを喜ばせた。というかアヴェンジャーの扱いはもっと良くならなかったのか。登場シーンは上記のシーンだけで後は副音声でなぜか種田山頭火の朗読をしているだけだったし。

## 今回のエンドカード：雪舟

### 第四十一話「中国篇 忍法第七聖典」

捕われの身の有彦とななこ。その身が龍神への生贄に捧げられるのはもはや時間の問題であった。だが、何を思ったか有彦は突如高笑いを始める。その態度に腹を立てた魔人ランサーは槍で彼を刺し殺さんとする。その時、その足元に突き立ったのはゲイ・ボルク（Mr. オクレ）であった。その場に埋葬機関のへりから颯爽とやって来る元祖ランサー、バゼット、そしてシエル先輩。ランサーとバゼットは、冬木町へ来る途中、大阪で泥酔し「あー、ポケットの中になんか大金が入ってるよー」とかいいながらフグ料理屋に繰り出し豪遊、無一文になったところを埋葬機関のへりに乗せてもらったのだ。ちなみに預金を引き出せばよかったのだがいかんせん二人とも口座を地元の銀行（ちば銀行）に作っていたので引き出せなかった。そんなこんなで魔人ランサーもシエルの第七聖典（大前均）、藤村組組員の広島弁エネルギー（地熱）を込めた大門バスター（シヨン・コネリー）、そしてバゼットの義手から放つ焼水（ごっくん馬路村）とランサーのゲイ・ボルクで倒れ冬木町にも平和が戻った。だが、一行がコペンハーゲンで打ち上げ中、シエルの通信機に四国へ向かった埋葬機関の部隊が四国に上陸する途中に元祖四匹の手で全滅したという知らせが受信される……。

### 解説

冬木町篇の後編。やっぱり第一部だけに登場した大門バスターなどの再登場はファンを喜ばせたが唯一の難点は間桐慎二が無駄に死なない点か。ちなみになぜかシエルが切支丹忍者となっていたのは明らかに脚本家の趣味。あ、ここまで書いて気づいたんだがアベンジャー全然活躍してないや。

今回のエンドカード：さいとうたかを

第四十二話「四国篇 新生四匹死す!？」 最強最悪の宝具!！」  
第十三話に登場した元祖四匹が記した古文書。それには四匹のことについてのほかにもかつて四匹の操った巨大からくり人形・四匹口ボ、五匹目の「四匹」・三枝瓢右衛門のことについて書いてあった。それはさておき、元桃月学園1年C組の面々は桃月学園校長に久々に招集をかけられていた。彼女らは四国に渡った四匹がばにぼにXとともに彼女らを派遣することを要請し消息を絶っていることを知らされる。かつてのクラスメイトとその仲間の危機に早速彼女らは「ばにぼにX!」をBGMに四国に出撃する。四国は、臙碯操る水晶怪獣オルトの攻撃で壊滅状態であった。彼女らは上陸するや否やいきなり兵隊オルトの襲撃に晒される。その窮地を救ったのはハヤタ・シン（黒部進）、モロボシダン（森次晃嗣）、郷秀樹（団次郎）、北斗星司（高峰圭二）、東光太郎（篠田三郎）、おおとりゲン（真夏竜）と名乗る男たちとその知り合いであるベッキーの同僚・矢的猛（長谷川初範）であった。矢的猛はばにぼにXにこっそり忍び込み四国に上陸したのだ。そこにやってきたのはギルガメッシュとカレン、そしてアルクェイドとアルトルージュであった……。

#### 解説

なぜか四部作である四国篇の一話目。当初の予定では四国篇で1クール使う予定だったらしいことが後に出了た研究本の脚本家インタビューで明かされている。ちなみに今回明らかになった魔人ギルガメッシュの真名はそれぞれ黒戸智十郎、双山龍之介、渡瀬義太郎、春日蔵人。

今回のエンドカード：斎藤千和

第四十三話「四国篇 五人目の四匹！ その名も三枝涼右衛門！」  
元祖四匹は恐るべき敵であった。水晶の十字架に捕らえられた新生四匹を救うためにアルク達が殴りこみをかけた際、その連携の前にゲート・オブ・バビロンも聖骸布（一切れ100円の布）も防がれ、さらにさしものアルクエイドも手傷を負わされ新生四匹救出にも失敗してしまったのであった。そして今、打開策を打ち出すためにはにぼにXの内部で話し合う一行。ギルとカレンはアルクエイドに宝具が通用しなかった際の無様な戦いぶりを指摘され壊滅した町で特訓を行う。矢的猛は一行に四国には同僚の桃月学園倫理の教師・三枝涼右衛門もにぼにXに乗り込み四国に上陸したことを告げられる。早速にぼにX内で涼右衛門を探す一行。だが、涼右衛門は先祖代々伝わる槍を携えて単身四匹が閉じ込められた水晶の十字架の元へ向かっていた。彼は偶然先祖が残した古文書を読み、かつて先祖の三枝瓢右衛門が四匹と共に戦ったという事実を知り、四国に渡ってきたのだ。しかしそんな涼右衛門の前に立ちはだかったのは魔人ギルガメッシュ・四匹であった。四匹は涼右衛門を抹殺するため最強にして最悪の宝具・四匹口ポを召還する。かつてお江戸八百八町の平和を守った正義の巨大からくり人形は、現在に悪の尖兵として蘇ったのであった……。

#### 解説

もうなんかありえないくらいにシリアスな一作。「ウルトラ忍法帖」だっていきなりシリアスな話が始まるからいいじゃんとは作者の言葉。ちなみにそのシリアスさゆえか本放送時には端っここの四角の中で桂歌丸師匠の落語が流されるという異例の措置が取られた。

今回のエンドカード：東洲斎写楽

第四十四話「四国篇 決闘! ぱにぽにX対四匹ロボ!」

涼右衛門に迫る四匹ロボ。だが、その動きをモロボシダン渾身のウルトラ念力が止め、ハヤタたちが涼右衛門を助け出す。そして魔人ギルガメツシュ、四匹ロボと対峙するアルクエイドたちとぱにぽにX。アルクエイドやギルガメツシュが四匹の剣で傷を負い、ぱにぽにXが四匹ロボに追い詰められる死闘の末、アルクとアルトのダブル空想具現化で生み出した鎖とパワーアップしたカレンの聖骸布（西陣織）が魔人ギルガメツシュを拘束し、彼らがそれらを叩き斬る前に新技・全方位ゲート・オブ・バビロンから射出された剣が魔人ギルガメツシュの顔面に張り付いていた仮面を傷つけることなく叩き割る。臓硯の呪縛が解け正気に戻る元祖四匹。彼らは、自らの志を受け継いだ子孫を助けるべく水晶の十字架へ向かう。しかし、彼らの目の前で新生四匹の捕われた十字架は地中に飲み込まれる。そして、地中から現れたのは水晶怪獣オルトで、新生四匹はオルトの体内に取り込まれていた……。

#### 解説

四国篇も今回から佳境に入る。もうなんというか果てしないまでにシリアス。だがたまにはこんな話があったっていいじゃないか。ちなみに今回は端っここの四角の中では猫ひろしが延々とギャグを飛ばしていた。余談ながら、この四国篇の主題歌は「黄色いバカンス」とかじゃなくあえてぱにぽにのドラマCDに収録されてたぱにぽにのイメージソング。

今回のエンドカード：勇者

第四十五話「四国篇 死闘! ウルトラ兄弟VSオルト!」

オルトと対峙するぱにぽにXと四匹ロボ。だが、オルトの頭頂部の角に新生四匹が取り込まれているためにオルトを倒すことはすなわ

ち新生四匹が死ぬことを意味していた。オルトの体内の翔十郎は俺達もろともオルトを倒せと絶叫するがベッキーや姫子たちは流石にかつての教え子、クラスメイトを手に掛けることはできない。そんな状況の中、ハヤタ・シン、モロボシダン、郷秀樹、北斗星司、東光太郎、おおとりゲン、矢的猛はそれぞれウルトラマン、ウルトラセブン、ウルトラマンジャック、ウルトラマンA、ウルトラマンタロウ、ウルトラマンレオ、ウルトラマン80へと変身し、さらになどこからともなくゾフィーとアストラもやって来た。かくしてウルトラ兄弟が四国に集結する……！ ついでにそこへ困った時のウルトラマンキングとアルクエイドの祖父キング・ブリュンスタッドが登場、オルトの角をへし折り新生四匹を救出する。そして、新生四匹も復活し遂にウルトラ兄弟&四匹ロボとばにばにX対水晶怪獣オルトの決戦の火蓋が切って落とされた。激闘の末、オルトはウルトラ兄弟の合体光線とばにばにXのベッキーラブラブ桃月拳、そして四匹ロボの無頼剣稲妻斬りで粉々になり、臓硯の四国占領作戦はここに終焉を迎えたのであった……。

#### 解説

四話に渡る長編となった四国篇の最終話。結局のところウルトラ兄弟VSオルトを書きたかっただけなのは内緒。そのせいかオルトとの決戦に30分以上費やしているのはご愛嬌。今回のみ、エンディングテーマは「ぱにらじ音頭 ジャズVer」。。

今回のエンドカード：氷川へきる

#### 第四十六話「東京篇 魔術師の国・ニッポン」

日本各地で魔人サーヴァント軍団と元祖サーヴァントたちが死闘を繰り広げる中、間桐臓硯は早速内閣総理大臣（田中邦衛）を追放し新たに間桐臓硯内閣を設立していた。間桐臓硯総理は「魔術師の国・

ニッポン」をスローガンに掲げ早速魔術による改革路線を打ち出す。税金はすべて魔力で払う、魔術省の設立、通貨単位は円からマキリに、学校の必修科目に新たに「魔術」を追加、魔術による国防、給食には必ずミルメーク（コーヒー味）を付けるなど次々と改革を進めていく臓硯。だが、臓硯の作らんとする社会は魔術師にあらざれば人にあらずという恐るべき社会であった。そして士郎たちや日本中に散った仲間達を臓硯は指名手配し、その首に一人当たり100万マキリの賞金を掛ける。宗之介の家族に迷惑を掛けないために、双山神社を去る士郎たち。だが、そこに魔人アーチと彼率いる萌怪軍団が襲撃してくる。さらに魔人アーチは臓硯の力により全ての元祖サーヴァントと凜や士郎たちの力を持ったフェイトキラーに変身。ゲイ・ボルグやエクスカリバーなど全ての宝具やガンドを操り士郎たちを追い詰める。そんな窮地の士郎を助けたのは遠野志貴と秋葉と四季、そして昔衛宮士郎に協力していたということでも更迭された警視總監（藤岡弘、）であった……。

#### 解説

第二部になつてから何の音沙汰も無かつた警視總監の再登場がファンを喜ばせた一作。フェイトキラーの登場とそのキャラクターは明らかに「ウルトラマンメビウス」の影響だがまあ気にするな。また、フェイトキラーの使うガンドがどう見ても横山光輝「闇の土鬼」の霞のつぶてだったのが気にかかる。

今回のエンドカード：百鬼丸

第四十七話「東京篇 大爆発！捨て身の魔術師ひとり」

これまでの魔人アーチのヘタレっぷりとはかけ離れて、全ての宝具に加え凜のガンドや士郎の投影、拳句は桜の黒い影をも操るといふ中学生が考えたような設定の魔術超人フェイトキラーは無敵であつ

た。とりあえず都内の遠野家にかくまわれた土郎、柳生十兵衛、セイバーは遠野秋葉や遠野四季達とこれからの作戦を話し合う。だが、そこへフェイトキラーが桃月第三小学校に乗り込み、もし1日以内に衛宮士郎が現れなければ桃月第三小学校の教師と生徒全員を処刑するとテレビで臨時ニュースが入る。これに対し早速桃月第三小学校へ向かう土郎、セイバー、柳生十兵衛、そして遠野志貴、秋葉、四季。かくして、彼らとフェイトキラーの死闘が始まった。怒涛の如く繰り出される宝具の前に流石の柳生十兵衛、遠野志貴たちも倒れ、目の盲点と聴覚を利用したガンダがセイバーの肩を貫く……。そんな仲間の危機に対し土郎はフェイトキラーを背後から羽交い絞めにする。そのまま彼は体内の投影回路のリミッターを解除することによりそれをオーバーヒートさせ超高熱を発生させる大技・衛宮ダイナマイトを使い、フェイトキラーを骨も残さずに蒸発させる。セイバーが風王結界で二人の周囲に真空、すなわち断熱状態を生み出し周りへの余波を食い止めることが出来たが、衛宮ダイナマイトを使ったことにより土郎の投影回路は修復不可能なまでにズタズタに傷つきそのまま土郎は倒れてしまう……。

#### 解説

あれだけ鳴り物入りで出て来たフェイトキラーの早すぎる退場が実に惜しまれる一作。もっと活躍して欲しかったと思っるのは筆者だけであろうか。フェイトキラーのガンダがどう見ても白土三平の「サスケ」に出て来た四貫目の操る無角だったのが気にかかる。あ、今更気付いたけど今回でさりげなく「Faith/stay knight」の皆さん全滅したわ。

今回のエンドカード：レオナルド・ダヴィンチ

第四十八話「東京篇 衛宮士郎大改造！」

衛宮士郎の容態は予断を許さない状況であつた。衛宮ダイナマイトの影響で彼の髪型はアフロヘアになり、投影回路の破損で作画も藤子・F・不二夫タッチになつてしまつた。このままでは士郎の寿命は残り3日も無い。遠野志貴はヨドバシカメラ新宿店で松芝電機開発の超魔術ダイナモ（ウエズリー・スナイプス）搭載で血管収縮剤塩酸テトラヒドロゾリン（蘇我入鹿）配合の新型の投影回路「臨兵闘者皆陣烈在前くん2011」（佐野史郎）をポイントで購入するが、その取り付け手術は成功率1%という難しいものであつた。これに対し遠野秋葉はブラックジャック（加山雄三）を呼んだ。早速ブラックジャックの手によつて始まる衛宮士郎の再改造手術。だが、同時に遠野家には衛宮士郎抹殺のためにアンリ・マユとその怪人軍団が迫つていた。士郎の手術を成功させるべくそれに立ち向かう遠野志貴たち。だが、アンリ・マユ怪人軍団の圧倒的な物量に彼らは窮地に陥る。そこに颯爽とやつて来たのは日本を縦断した怪盗クイーンの飛行船・トルバドールに集められ東京へ戻つてきた仲間達であつた……。

#### 解説

遂にTYPE・MOONキャラが久々に揃い踏みした一作。だが今度もまた出てきてすぐネロに食われたガキ（山田花子）、死徒と化したサラリーマンのおっさん（大杉漣）やコペンハーゲンの隣のリサイクルショップの親父・大塚さん（温水洋一）などどうでもいいキャラが出てくるのはいかななものか。今回アンリ・マユは超魔術改造人間として復活した士郎の投影した真アゾット剣（森繁久弥）で死亡。

今回のエンドカード：古賀亮一

第四十九話「間桐臓硯が一条祭りを呼ぶ」

アンリ・マユを倒され、さらに国民の支持率も急降下し追い詰められた臙碓は遂に最後の作戦に乗り出した。その名も「妖星一条祭り作戦」。第十八話で入手した一条祭りを魔術で宇宙に転送した臙碓は一条祭りを地球にぶつけることで地球を壊滅状態にしようともくろむ。そして、一条祭りの接近により地球に流星雨が飛来、バン・アレン帯は発火しオゾンホールが開き宇宙ビールスが来襲したりする……。宇宙ビールスの影響で可愛い女の子に変身してしまう阿藤快と新生四匹。これには思わず姫子と6号さんもうっとりオブリジーヤード。折りしも、元祖&新生四匹と元1年C組の面々は桃月学園校長に招集をかけられる。校長は彼らにばにXと四匹ロボで宇宙に出撃し一条祭りの破壊を依頼する。無期限の桃月学園食堂使い放題を報酬に一行はこの仕事に乗ることを決意。早速ばにXと四匹ロボの発射準備に取り掛かる。そこへ発進させてはならじと駆けつける萌怪&怪人軍団。セイバーや土郎たちがそれに立ち向かうが圧倒的な敵の数に徐々に劣勢になる。そこに現れたのはそれぞれ都と警視總監を助けるべくやって来た竹内力（本人）率いる北関東ツッパリ連合の皆さん（嶋大輔、パンツエッタ・ジローラモ、ラーメンズ、三遊亭小遊三、縄文太郎、真昼狂念など）と一文字隼人（佐々木剛）たちであった……。

## 解説

可愛い女の子と化して「これが……私？」と鏡を見る新生四匹&阿藤快が作業人シリーズの「これが私パターン」を彷彿とさせる。阿藤快は次回から説明も無く元に戻るが、新生四匹と元祖四匹のキャラがかぶるためかこの回以降、最終話まで新生四匹は可愛い女の子のまま。以後彼らは柏木優奈&優麻の陰謀でスクール水着やバニーガールの格好をさせられてファンを魅了した。ちなみに今回可愛い女の子に変身した新生四匹&阿藤快を演じた声優は以下のとおり。

翔十郎（ドジっ娘・ツンデレ）：田村ゆかり

べたん・クイル  
宗之介：三宅華也

ボーン・イッシュユ・くのいち  
仁太郎：千葉妙子

風人（たゆん・お姉さま）：伊藤静

阿藤快：野川さくら

今回のエンドカード：パプロ・ピカソ

第五十話「藤ねえの3乗！勝てるか士郎」

何の脈絡もなく藤ねえが謎の時空の乱れ（丹波哲郎）に巻き込まれ無意味に小さい藤ねえ（池乃めだか）、やたらに勝気な藤ねえ（柳生宗矩）、士郎にべつたりな藤ねえ（アンチラ星人）と三人増えた。分裂した藤ねえの四人同時のおかず奪取にさすがのセイバーも苦戦を強いられる。それを聞きアーチャーも「お姉ちゃんが大好きならお姉ちゃんは増えてもいいのか？ 許せねえ」と目に怒りの炎をともらせる。しかし、三人一気に家族が増えたことにより衛宮家の家計は火の車へ垂直落下。このままでは士郎の夢である衛宮切嗣記念館（ゆつたろ）の建設計画が頓挫してしまう……。一方、衛宮家の縁側で朝日の光を浴びていた先生が突如旗竿を持ち走り出した……！

## 解説

終盤になっていきなり脚本家が唐突に第一部の登場人物解説の藤村大河の項で「なお、第二シーズンにおいて謎の時空の歪み（丹波哲郎）に巻き込まれて三人の分裂藤ねえを作り出してしまっ」と描いたことを思い出し、無理やりここにねじ込んだ一作。余談ではあるが脚本は第一部の未使用脚本の流用で時代は前回の聖杯戦争の時ということになっている。最終的に四人の藤ねえは木の周りをライダー車輪っぽく高速回転することにより一人に戻るがそのシーンの士郎はどう見てもどっかの絵本の主人公。「メイツ星人差別をなくす会」を中心にこのことについての賛否が物議を醸し、国会で取り上げられたりして最終的には伊賀甲賀間の忍者の抗争にまで発展。結

果、数多くの忍者の血が流されることとなった。

今回のエンドカード：竹内崇

第五十一話「なぜだ！ 4たす10は ！！」

四匹ロボ&ぱにぼにXは宇宙にて一条祭りと対峙する。一条祭りは怪獣墓場に眠る怪獣や超獣、円盤生物などの霊を実体化させ二大口ボに立ち向かう。それを次々と蹴散らしていく四匹ロボとぱにぼにX。だが、パンドン、ゼットン、ベムスターといった強豪怪獣との死闘ではにぼにXは右手を吹き飛ばされ四匹ロボも両足をゼットンの1兆度の火の玉で溶解されてしまう。その機に乗じられ一条祭り内部に吸い込まれる四匹ロボとぱにぼにX。そこで一行は一条祭り御神体によってそれぞれの「理想の世界」に引きずり込まれる。黒戸コンビは死んだそれぞれの父親に会ったり、春日コンビは家族円満にご満悦、双山コンビは和菓子を食いまくったり渡瀬コンビは宇宙刑事になれたりした中、ベッキーだけは正気を保っていた。そして、彼女は抜き打ちテスト（赤点取った奴は罰ゲームの廃旅館2泊3日の旅をプレゼント）を告げることによりダブル四匹やC組生徒を正気に戻す。しかしその間一条祭りの御神体は様々な怪獣、超獣、円盤生物などの力を吸収し隕石怪獣・一条祭りザウルスに変貌していた。一条祭りザウルスの強大な力に圧倒される半壊したぱにぼにXと四匹ロボ。その時、四匹ロボに搭載されていたブラックボックスが稼動、四匹ロボはぱにぼにXと「宝具合体」し、グレートぱにぼにXとなる……。

解説

ぱにぼにX&四匹ロボ対怪獣軍団の死闘が印象に残る傑作。ダブル四匹とC組の皆さんが「アルマゲドン」っぽく地球に帰還するシーンは屈指の名シーン。ちなみにその時の新生四匹は何故かブルマを

はいていた。冒頭、エトワールに集まった四国篇以来再登場となるハヤタたちが外に出て意味深に空を見上げるシーンがあったが結局最後まで関係は無かった。と、ここまで書いて気付いたがこれは本当に「Fate/stay night」の話なのか？ 四匹や「ぱにぽに」のキャラが主役を食ってしまったている感が否めない。

今回のエンドカード：手塚治虫

第五十二話「阿藤快の挽歌、そして大団円オブジヤール」  
遂に進退窮まった臓硯。すでに主立った部下は魔人セイバー・宮本武蔵、黒セイバー14号、そして初登場からすっかり忘れ去られた感のある言峰鯨の三人だけになってしまった。そして、衛宮士郎たちは間桐臓硯と決着を付けるべく国会議事堂改め魔術議事堂へ向かっていた、直前に可愛い女の子と化した新生四匹の入浴&着替えシーンを交えつつ。その途中の魔術議事堂前で、黒セイバー14号が単身現れ柳生十兵衛に一騎打ちを申し込む。死闘の末、柳生十兵衛に黒セイバー14号は討たれた。だが、それは間桐臓硯の最大にして最強の魔術オン・リイアーク完成のための時間稼ぎに過ぎなかった。オン・リイアークが発動し、地面が割れて出現した異次元空間に飲み込まれようとするTYPE-MOON軍団。そんな最大の危機に対し満を持して駆けつけたのは夜の魔術師殺し・衛宮切嗣（皆川猿時）と彼の愛人軍団（クレオパトラ、小野小町、楊貴妃、藩金蓮とか）だった。BGMはもちろんグループ魂の「愛人」だ。得意のガン・カタでオン・リイアークを阻止し何事も無かったかのごとく愛人とドンペリ（ごっくん馬路村）を飲み始めた切嗣は軽くスルーして魔術議事堂内に殴りこむTYPE-MOON軍団、可愛い女の子と化した新生四匹がパンチラをしつつ。そして、宮本武蔵がセイバーのエクスカリバーに、言峰鯨が怪盗クインとジョーカーの連携の前に倒れ、遂に臓硯との最終決戦が始まった。臓硯は聖杯の

力で今まで倒れた魔人サーヴァント軍団を復活させたり時間を止めたり触れたものを爆弾に変えたり1兆度の火の玉を放ったりキリンも象も氷にしたりとまさにラスボスらしい風格を漂わせていた。そんな臓硯に対し、TYPE-MOON軍団と阿藤快、ダブル四匹、怪盗クイーンとジョーカー、最終回だからついでにベッキーや今までのゲストキャラたちも腕を組み超エネルギー（北野武）を発生させ、それを衛宮士郎の真アゾット剣（森繁久弥）と衛宮大河の虎竹刀（宮藤官九郎）に宿す。そして、レーザーブレードっぽくなった真アゾット剣と虎竹刀を振りかざし、「魔術師の時代は、この士郎と大河が斬るッ！」と叫び二人は駆け出すのであった……。意味も無く可愛い女の子と化した新生四匹の服が臓硯の1兆度の火の玉で破れるシーンを交えつつ……。

## 解説

遂に堂々の最終回。士郎と大河の合体技で臓硯を倒すシーンは燃える。しかししつこいほど繰り返される新生四匹の無意味なお色気描写は絶対にいらなかった。衛宮切嗣のキャラクターが完膚なきまでに破壊されたことに対し、脚本家は「『Fate/zero』の題字の『zero』の部分ってなんか岡本太郎っぽいよね」の一言を残している。なお、余談ではあるが脚本家は臓硯に止めを刺すのが士郎&セイバーではなく士郎&大河だったことについて「夫婦の絆の大切さを描きたかった」という言い訳としか思えない弁明をしている。

今回のエンドカード：岡本太郎

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n3793m/>

---

犬Fate/stay night 第二部

2011年5月6日08時33分発行